卒業生・就職先企業及び進学先大学を対象とした本校の教育に関するアンケートの結果報告

目次

０．総括と提言 ・・・ 1

（各種分析）
１．カリキュラムについて ・・・ 2
２．本校教育に対する評価(満足度)および DP の達成度について
2-1. 企業 ・・・ 4
2-2. 卒業生 ・・・ 6
2-3. 大学 ・・・ 8
2-4. DP 別に見た評価 ・・・ 8
３．専攻科の専門教育について ・・・10
４．より充実すると良い教育について ・・・12

（付録）
５．アンケート一覧およびその属性とアンケート項目
5-1. アンケート一覧 ・・・14
5-2. アンケートの属性 ・・・14
5-3. アンケート項目 ・・・17
６．アンケート質問項目と DP の関係(グラフカラー対応) ・・・18
７．資料（熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について ・・・19
８．各アンケートのフォームズ PDF ・・・20
９．令和４年度第１回企画調整会議（令和４年４月 12 日（火））提出資料 ・・・24

０．総括と提言

次の４項目について、総括する。

１．カリキュラムが社会のニーズを汲み取っているか。
２．本校教育に対する評価(満足度)および DP の達成度。
３．専攻科の専門教育のレベルが社会のニーズに適合しているか。
４．より充実すると良い教育。

１～３の総括（詳細については１～３の考察・観点・分析 参照）

１～３については、高い評価を得ており良好である。				
1.カリキュラムに対する評価	2.本校の教育全般に対する評価（満足度）			3. 専攻科専門教育に対する評価
	2-1 企業	2-2 卒業生	2-3 大学	
8.4	8.2	8.0	7.5	8.4
※1　10 段階に換算した評価値の小数点第２位は四捨五入している。				
本校が掲げる各 DP の達成度：概ね十分（考察 2-4 参照）				
※2 「４．より充実すると良い教育」に関連するキーワード等： 企業が求める能力の上位４項目： オ:連携・協働して業務を遂行する能力、エ:専門的知識、ク:課題解決能力、コ:実行力 他項目に比べて「やや不十分」との評価が多かった項目： イ:英語力、カ：リーダーシップ　（ただし、イ:英語力は企業が求める能力の中で重要度が低い）				

４の総括（詳細については４の考察・観点・分析 参照）

	DP1	DP2	DP3	DP4	DP6
企業	③プレゼン	④ICT 教育	⑤実験実習 ⑥専門教育	⑧グループワーク	⑭課題解決型(教育)
卒業生・大学	②英語教育				⑬資格取得(支援)
「英語教育」については、企業と卒業生・大学生との間にニーズ（重視する度合い）の差がある。 卒業生アンケートでは、「資格取得(支援)」も上位に入っている。					

提言

１．カリキュラムをはじめ、本校の教育全般について良い評価を得ている。
　これを維持するために、検証しながら質保証の仕組みを整備・改善することが望まれる。
２．「４．特に充実させると良い教育」については、アンケート結果(４の総括・考察・観点・分析)を踏まえて、教育の実践に反映させる工夫が必要である。
３．卒業生および卒業生の進学先の大学に関する追跡調査の方法について改善する必要がある。
　(P6 考察 2-2(3)および P8 考察 2-3-(3)参照)
※ １．については、令和３年度第 16 回企画運営会議（令和４年3月18 日（金））で提示した提言と同じ趣旨である。

１．カリキュラムについて

（アンケートの目的１）
カリキュラムが社会のニーズを汲み取っているか考察・検証し改善提言につなげる。
※ カリキュラムについては、「７．資料（熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について）」参照

評価値　＝ 8.35

（考察 1）
１．十分高い評価を得ていることからカリキュラムは社会のニーズを汲み取っていると言える。
（分析 1 参照）
また、この結果は、アンケートの一次分析結果として令和 4 年度第 1 回企画調整会議
（令和 4 年 4 月 12 日（火））提出資料と同様の結果となっている。
（８．令和 4 年度第 1 回企画調整会議（令和 4 年 4 月 12 日（火））提出資料参照）

（分析 1 の観点）
カリキュラムが社会のニーズを汲み取っているか？
本校カリキュラムの特徴である「高専版リベラルアーツ教育」が社会のニーズに適合しているか？

（分析 1 ）
(1) 評価値は、10 段階評価で 8.32 である。（表 1 -1、表 1 -2 および下段の評価値）
(2) A：カリキュラム評価 _リベラルアーツについては、96.6%が「３：汲み取っている」以上の評価
（図 1 -1）
(3) B：カリキュラム評価 _社会実装・協働教育についても、96.6%が「３：汲み取っている」以上の評価
（図 1 -2）
(3) 特に、企業に対するアンケートでは、「２：十分とは言えない」以下のネガティブな評価はない。
（表 1 -1、表 1 -2）
(4) さらに、企業に対するアンケートでは A：カリキュラム評価 _リベラルアーツ、
B：カリキュラム評価 _社会実装・協働教育のいずれについても、半数以上が
「４：十分汲み取っている」との評価である。
（表 1 -1、表 1 -2）

1-1-A:カリキュラム評価 _リベラルアーツ および 1-1-B:カリキュラム評価 _社会実装・協働教育

(使用データ 2-1-A,B) 企業アンケート１、企業アンケート２、卒業生アンケート、大学アンケート

(質問項目 2-1-A)
「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」(資料) をご一読の上、次のアンケートにお答えください。

平成 31 年度(令和元年度)カリキュラムでは高専版リベラルアーツ教育を以下のように再定義したうえで，リテラシー，コンピテンシー教育の充実を図っています。

※ 高専版リベラルアーツ教育 修学期間か 5 年間であり，早期専門教育をおこなう必要性から，単に一般教養的な知識習得を拡充するのではなく，さまざまな知識，学修成果を総 合的に活用する学習活動を通して，思考力や課題設定，問題解決に必要な 態度，志向性などの育成を図る。(参考:関連リンク↓)
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/02/20210226a/
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/09/20210924a/

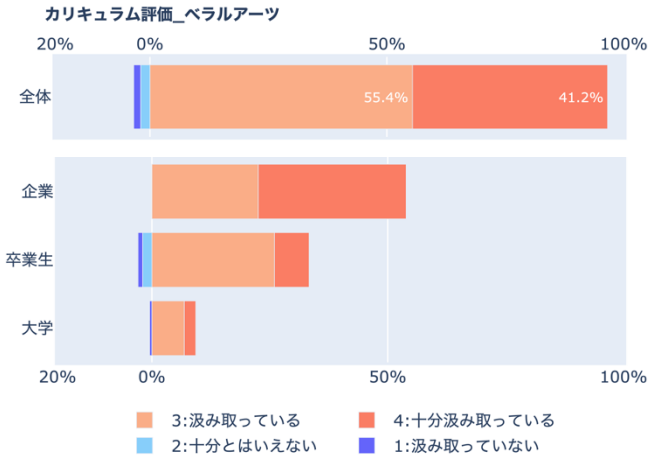
このカリキュラム改訂は，社会的な動向やニーズ，あるいはエ ンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか?

(質問項目 2-1-B)
「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」(資料) をご一読の上、次のアンケートにお答えください。

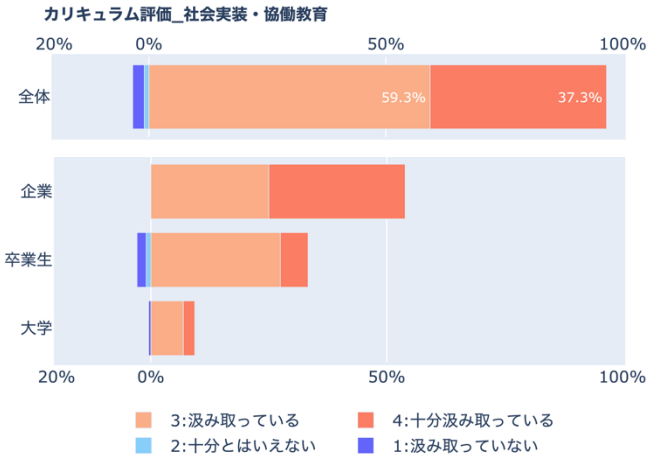
本校では，社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育(CO- OP 教育)の充実を図っています。 (参考:関連リンク↓)
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/04/20210402b/
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/04/20210419b/

このカリキュラムは社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか?

A:カリキュラム評価_リベラルアーツ_図1-1



B:カリキュラム評価_社会実装・協働教育_図1-2



A:カリキュラム評価_リベラルアーツ_表1-3

評価	企業	卒業生	大学	合計
4:十分汲み取っている	64	15	5	84
3:汲み取っている	46	53	14	113
2:十分とはいえない	0	4	0	4
1:汲み取っていない	0	2	1	3
合計	110	74	20	204

(a1) = {(1 計)*1+(2 計)*2+(3 計)*3++(4 計)*4}/204

評価値 1 = (a1)*4/10 = 8.41

B:カリキュラム評価_社会実装・協働教育_表1-4

評価	企業	卒業生	大学	合計
4:十分汲み取っている	59	12	5	76
3:汲み取っている	51	56	14	121
2:十分とはいえない	0	2	0	2
1:汲み取っていない	0	4	1	5
合計	110	74	20	204

(a2) = {(1 計)*1+(2 計)*2+(3 計)*3++(4 計)*4}/204

評価値 2 = (a2)*4/10 = 8.28

評価値 = (評価値 1 と評価値 2 の平均) = 8.35

※ 企業についての集計値は、企業アンケート 1 と企業アンケート 2 の合算値
企業アンケート 3 (回答数 27 件) ではカリキュラムに関する質問項目を入れていない

２．本校教育に対する評価(満足度)および DP の達成度について

(アンケートの目的２)
本校教育に対する評価(満足度)および DP の達成度について考察し改善提言につなげる。

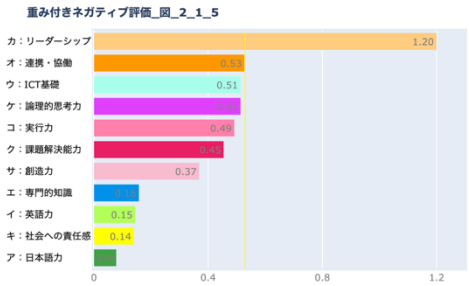
2-1. 企業

評価値　＝ 8.23

(考察 2-1)
1．全体として高い評価を得ている。(分析 2-1(1)(3)(4)参照)
2．従来からの実験実習を重視した専門科目教育(エ)は、企業のニーズに応えている。
加えて、オ:連携・協働して業務を遂行する能力、ク:課題解決能力、コ:実行力といった汎用的能力が重視されている。(分析 2-1(2)参照)
3．項目カ:リーダーシップに関する能力涵養が他項目と比較してやや不十分との結果が出ている。
(分析 2-1(4)(5)参照)

(分析 2-1 の観点)
企業が求める能力として挙げられた件数に関する重み付きで、評価値を分析する。

(分析 2-1)
(1) ア～サ 11 項目に関する重み付評価ポイント合計(最大値＝10)で算出した評価値は、
10 段階評価で 8.32 である。(表 2-1-3)
(2) 求められる能力として挙げられた頻度が高い順に 3 グループに分けると
高(50%以上)[オ:連携・協働して業務を遂行する能力、エ:専門的知識、ク:課題解決能力、コ:実行力]
中(25%以上) [ケ:論理的思考力、カ:リーダーシップ、キ:社会への責任感]
底(25%未満) [ウ:ICT 基礎、サ:創造力、ア:日本語力、イ:英語力]
となる(図 2_1_1)。また、自由記述からは、オ、クに関する記述が多数読み取れる(表 2-1-4)。
(3)「１：不十分」との評価については、11 項目中の 3 項目について各 1 件に止まっている。(表 2-1-3)
(4) 求める能力として挙げられた件数が一番多かったオに関する「１：不十分および２：やや不十分」のネガティブ評価は 6.4%程度と低い。(図 2-1-2)
(5) 「２：やや不十分」との評価については、「イ:英語力」に関して最も多く次いで「カ:リーダーシップ」となっている。(図 2-1-2)
(6) 一方で、重み付ネガティブ評価＝「求める能力として挙げられた件数の割合」×「ネガティブ回答（＝１：不十分および２：やや不十分と）の件数」については、オのポイント 0.53 を基準に見た場合、
この値を超える項目は「カ:リーダーシップ」のみである。
特に、やや２：不十分との評価は「イ:英語力」に関して最も多かったが、不十分との評価はなく(図 2-1-2)、
イの重み付ネガティブ評価は、0.15 ポイントとオの 4 分の 1 程度の値を示しており低い。
(図 2_1_5=表 2-1-3 の項目 E のグラフ)



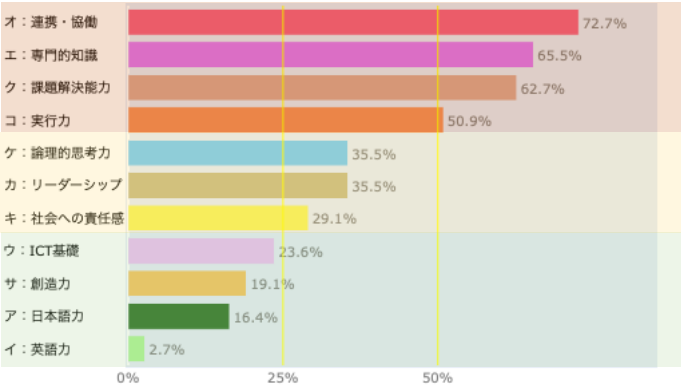
2-1-A:企業が求める能力 および 2-1-B:本校卒業生に対する評価

(使用データ 2-1-A) 企業アンケート１、企業アンケート２
(使用データ 2-1-B) 企業アンケート１_G、企業アンケート２_G、企業アンケート３

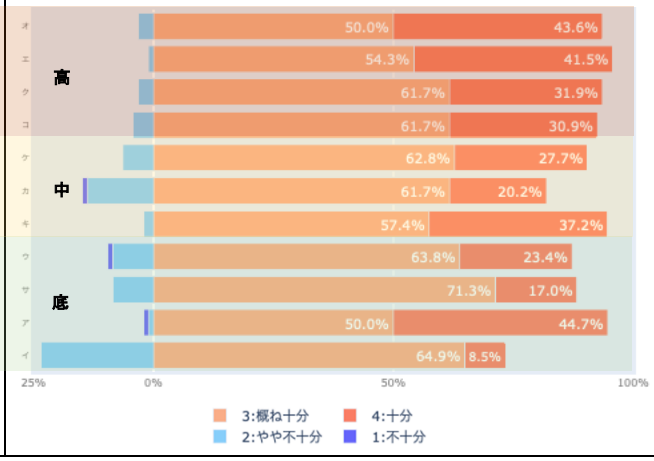
(質問項目 2-1-A)
A) 貴社に入社を希望する本学卒業生に期待する資質・能力としてどのようなものを求めていますか。

(質問項目 2-1-B)
B) 最近（2016 年～2020 年の間）貴社に入社した本学卒業生に関して、貴社が求める人材像との比較において以下ア～サの資質・能力についてどのように感じられますか。

A) 企業が求める能力__図 2-1-1



B) 企業による本校卒業生に対する評価__図 2-1-2



企業が求める能力および評価__表 2-1-3

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	計
4:十分	42	8	22	39	41	19	35	30	26	29	16	307
3:概ね十分である	47	61	60	51	47	58	54	58	59	58	67	620
2:やや不十分	1	22	8	1	3	13	2	3	6	4	8	71
1:不十分	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
A:評価ポイント(*/10)	8.57	7.12	7.83	8.54	8.54	7.61	8.41	8.24	8.05	8.19	7.72	88.82
5:求める能力	18	3	26	72	80	39	32	69	39	56	21	455
B:重み	0.040	0.007	0.057	0.158	0.176	0.086	0.070	0.152	0.086	0.123	0.046	1.00
C:重み付評価ポイント	0.339	0.047	0.447	1.352	1.502	0.652	0.591	1.250	0.690	1.008	0.356	8.23
D:回答1,2の件数	2	22	9	1	3	14	2	3	6	4	8	
E:重み付ネガティブ評価	0.08	0.15	0.51	0.16	0.53	1.20	0.14	0.45	0.51	0.49	0.37	

※ 計算式補足:F=91=(4～1に関する件数のア～サ各列毎の和), G=455=(行「5:求める能力 」の件数の和)

A={(4:十分)＊4＋(3:概ね十分である)*3+(2:やや不十分)*2+(1:不十分)*1}*{10/(F*4)}, B=(5:求める能力)/G, C=A*B, E=D*B

企業が求める能力_選択肢外の自由記述__表 2-1-4

	オ:連携・協働	ク:課題解決能力	その他	
1	コミュニケーション能力	新しい領域へのチャレンジ精神	基礎学力	(ア,イ,エ)
2	コミュニケーション能力	チャレンジ精神	社会人基礎力	(キ)
3	コミュニケーション能力	チャレンジ力	ルールを守る、主体性	(キ)
4	コミュニケーション能力	探究心	誠実・嘘をつかない	(キ)
5	コミュニケーション能力	チャレンジ精神（失敗を恐れず取り組む姿勢）	苦難にめげない精神的強さ	(オ,ク)
6	コミュニケーション能力	ビジネス推進意識	ストレスコントロール力	(オ,ク)
7	コミュニケーション能力	例えば、なぜ電車が動くのかを考えれる探求心ある思考力	粘り強さ	(オ,ク)
8	コミュニケーション力	トライアルアンドエラーをしていく力	素直さ	(オ,ク)
9	コミュニケーション力、意欲	課題や改善における、発見力と発信力です。	人間的な面白さ。	(オ,ク)
10	コミュニケーション	自分で考えて自分で行動できる力		
11	誠実、コミュニケーション能力	IT業界は新しい知識を吸収することを求められますので探求心などがある方は素晴らしい資質をお持ちだと考えます。		
12	素直な人柄、粘り強さ、コミュニケーション能力			
13	様々な年代の人とのコミュニケーション力			
14	広い視野で物事の本質を把握できる能力、コミュニケーション能力			
15	部内および他部署の人員と連携して業務を遂行する能力。			
16	責任感、向上心、チームワーク			
17	自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を受け止めてよりよい解をみつけることができる力。			

2-2. 卒業生

評価値　＝ 7.97

(考察 2-2)
1．学科によって評価に差があるものの、全体として、概ね満足との評価である。(分析 2-2(1)～(4))
2．企業が求める能力として挙げられた件数が高い項目ほど満足度が高く、
「中グループ」の中では「カ：リーダーシップ」に関する項目の評価が低い。
また、「底グループ」の中では「イ：英語力」に関する項目の評価が低い。(分析 2-2(5))
3．卒業生に対する追跡調査の方法については、今後、検討する必要がある。(分析 2-2(6))

(分析 2-2 の観点)
本校の教育全体に対する満足度で、評価値を分析する。項目別評価については、企業が求める能力として挙げられた件数の多い順に、高・中・底の 3 グループに分けて分析する。

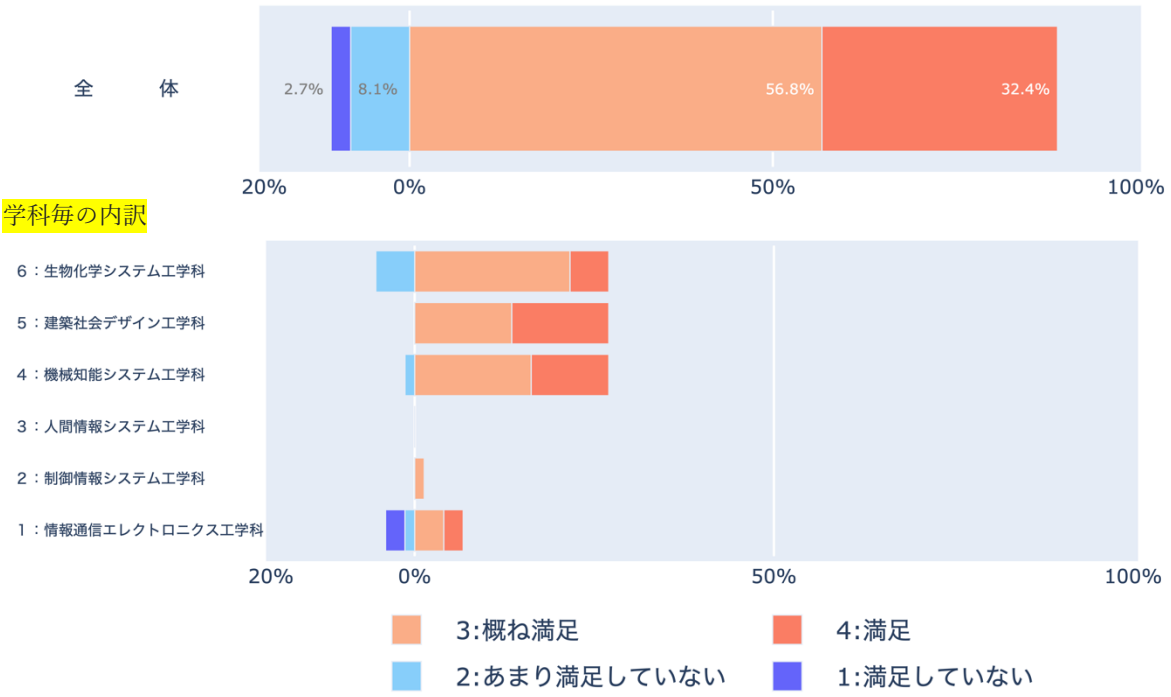
(分析 2-2)
(1) 評価値は、10 段階評価で 7.97 である。(表 2-2-2)
(2) 「3：概ね満足」以上の評価は 89%程度である。(図 2-2-1)
(3) 「1：満足していない」との評価は全体で 2 件である。(表 2-2-2)
(4) 学科によって、評価に差がある。(図 2-2-1)
(5) 企業が求める能力として挙げられた件数が高い項目ほど満足度が高い。
「高グループ」については、いずれも 80%以上が「3：概ね役立った」以上の回答をしており、
「1：役に立たなかった」との回答はいずれも 3 件以内である。
「中グループ」については、「カ：リーダーシップ」に関する項目の評価が低い。
「底グループ」については、「イ：英語力」に関する項目の評価が低い。
(図 2-2-1、表 2-2-2)
(6) アンケート回収件数について、キャンパスごとに差があり、回答数が 0 の学科もある。
卒業生して、数年が経過した方々への追跡調査（アンナケート）方法については、
今後、検討する必要がある。(図 2-2-1)

2-2-A:卒業生の本校教育全体に対する満足度 および 2-2-B:卒業生の項目別評価

(使用データ 2-2) 卒業生アンケート

(質問項目 2-2-A) 本校での教育全般について、満足度はいかがですか。

A) 卒業生の本校教育全体に対する満足度__図 2-2-1



A) 卒業生の本校教育全体に対する満足度__表 2-2-2

	1:情報通信エレクトロニクス工学科	2:制御情報システム工学科	3:人間情報システム工学科	4:機械知能システム工学科	5:建築社会デザイン工学科	6:生物化学システム工学科	全体
4:満足	2	0	0	8	10	4	24
3:概ね満足	3	1	0	12	10	16	42
2:あまり満足していない	1	0	0	1	0	4	6
1:満足していない	2	0	0	0	0	0	2
T:合計	8	1	0	21	20	24	74
A:評価ポイント(*/10)	6.56	7.50	−	8.33	8.75	7.50	7.97

※ 計算式補足:A={(4:十分)＊4＋(3:概ね十分である)*3+(2:やや不十分)*2+(1:不十分)*1}*{10/(T*4)}

(質問項目2-2-B) 本学の教育が、ア～サの資質・能力を身につけ・伸長するために役立ったか、どのように感じられますか。

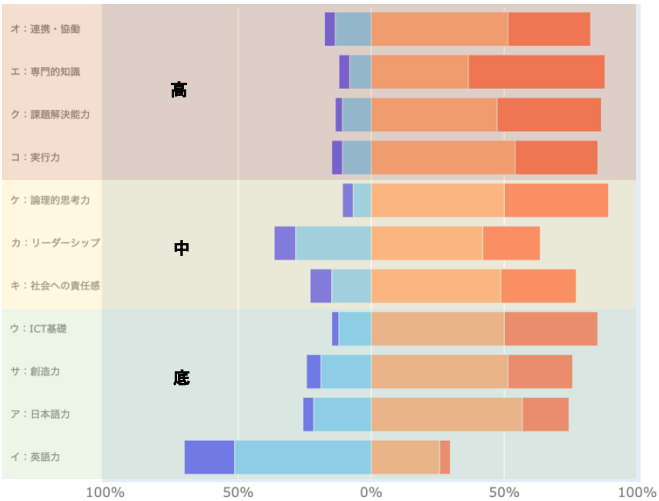
B) **卒業生の項目別評価**__表 2-2-3

	オ	エ	ク	コ	ケ	カ	キ	ウ	サ	ア	イ
4:役立った	23	38	29	23	29	16	21	26	18	13	3
3:概ね役立った	38	27	35	40	37	31	36	37	38	42	19
2:あまり役立たなかった	10	6	8	8	5	21	11	9	14	16	38
1:役立たなかった	3	3	2	3	3	6	6	2	4	3	14

3:概ね役立った　4:役立った
2:あまり役立たなかった　1:役立たなかった

※ 右の表の項目は、企業が求める能力(図 2-1-1)が高い順に配置している。

B) 卒業生の項目別評価__図 2-2-4



2-3. 大学

評価値　＝ 7.5

(考察 2-3)
1．全体として、概ね満足との評価である。(分析 2-3(1)、(2))
2．企業が求める能力として挙げられた件数が高い項目ほど満足度が高く、「中グループ」の中では「カ：リーダーシップ」に関する項目の評価が低い。また、「底グループ」の中では「イ：英語力」と「サ：創造力」に関する項目の評価が低い。(分析 2-2(3))
3．進学先への追跡調査の方法については、今後、検討する必要がある。(分析 2-3(4))

(分析 2-3 の観点)
項目別評価で評価値を分析する。

(分析 2-3)
(1) 評価値は、10 段階評価で 7.5 である。(表 2-3-1)
(2) 「1：不十分」との回答は、いずれの項目についても 2 件以下である。(表 2-3-1)
(3) 企業が求める能力として挙げられた件数が高い項目ほど満足度が高い。
「高グループ」については、いずれも 80%以上が「3：概ね十分」以上の回答をしており、
「3：概ね十分」以上の回答が 80%を下回る項目は、「中グループ」については「カ：リーダーシップ」
「底グループ」については「サ：創造力」「イ：英語力」となっている。(表 2-3-1、図 2-3-2)
(4) アンケート回答数が２０件とそれ程多くはない。(表 2-3-1)
進学先への追跡調査（アンナケート）方法については、今後、検討する必要がある。

2-4. DP 別に見た評価

(考察 2-4)
1．各 DP について、概ね十分との評価である。(分析 2-4(1)、(2))
2．「イ：英語力」(DP1)、「カ：リーダーシップ」(DP4)について、他項目より評価が低い。(分析 2-4(3))

(分析 2-4 の観点)
本校の理念・目的に「実践的・創造的な技術者の育成企業」が掲げられていることに鑑み、企業による評価をベースに分析する。

(分析 2-4)
(1) 企業評価は DP3 に対応する項目「エ：専門的知識」7.2pt を除き、7.6pt 以上の評価値を示している。
(2) 一方で、DP3 に対応する項目「エ：専門的知識」の卒業生による評価は 8.4pt と高い。
(3) 企業による評価以外では、7pt を下回った項目が下記、2 項目ある。
「イ：英語力」卒業生 5.4pt、大学 6.8pt。「カ：リーダーシップ」卒業生 6.9pt。
(以上については、表 2-4-1 および図 2-4-1 参照)

2-3:大学の本校教育に対する評価(卒業生の資質・能力に対する評価)

(使用データ 2-3) 大学アンケート

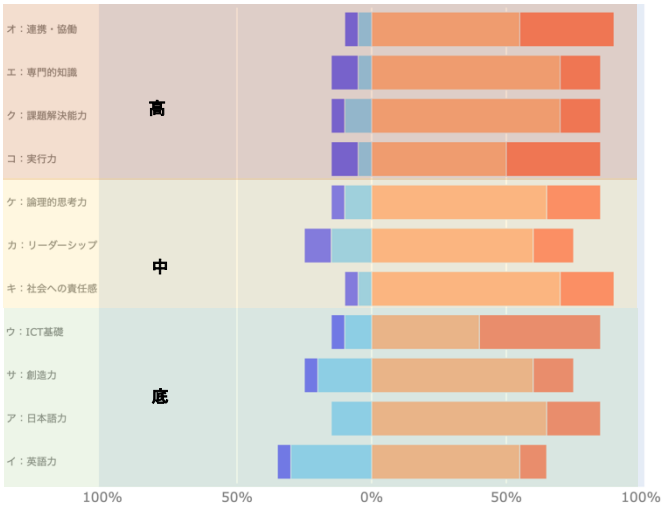
(質問項目 2-3) 最近(2016 年~2021 年の間)貴研究室に進学した本学卒業生に関して、
貴研究室が求める人材像との比較において以下ア~サの 資質・能力についてどのように感じられますか。

大学の卒業生の資質・能力に対する評価__表 2-3-1

	オ	エ	ク	コ	ケ	カ	キ	ウ	サ	ア	イ	全体
4:十分	7	3	3	7	4	3	4	9	3	4	2	49
3:概ね十分である	11	14	14	10	13	12	14	8	12	13	11	132
2:やや不十分	1	1	2	1	2	3	1	2	4	3	6	26
1:不十分	1	2	1	2	1	2	1	1	1	0	1	13
T:合計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	220
A:評価ポイント(*/10)	8.0	7.3	7.4	7.8	7.5	7.0	7.6	8.1	7.1	7.6	6.8	7.5

※ 計算式補足:A=[(4:十分)＊4＋(3:概ね十分である)*3+(2:やや不十分)*2+(1:不十分)*1]*[10/(T*4)]

大学の卒業生の資質・能力に対する評価__図 2-3-2



3:概ね十分　4:十分
2:やや不十分　1:不十分

※ 右の表の項目は、企業が求める能力(図 2-1-1)が高い順に配置している。

2-4:DP 別に見た各項目に対する評価

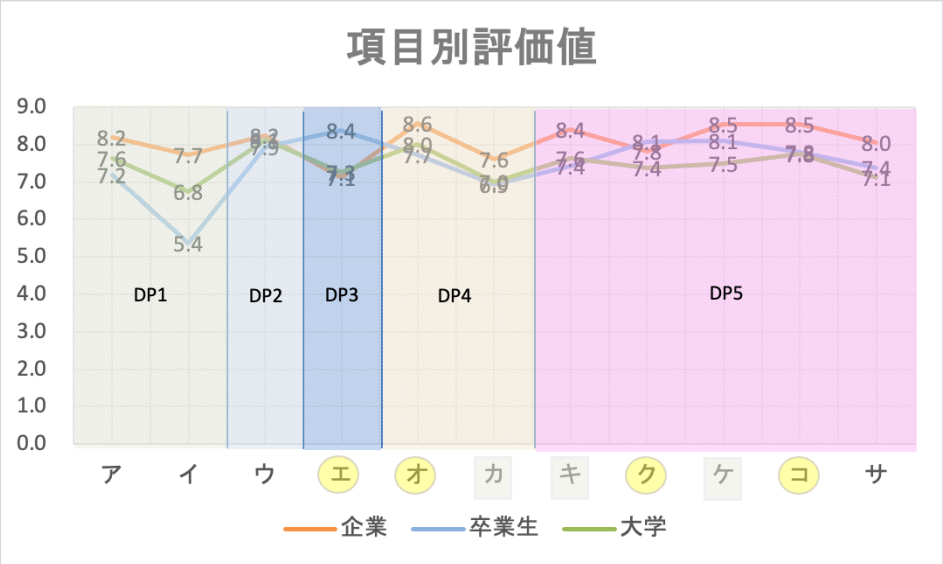
(使用データ 2-4) 企業アンケート 1_G、企業アンケート 2_G、企業アンケート 3、卒業生アンケート、大学アンケート

(質問項目 2-4) 企業:(質問項目 2-1-B)、卒業生:(質問項目 2-2-B)、大学:(質問項目 2-3)

DP 別に見た各項目に対する評価__表 2-4-1

	DP1		DP2	DP3	DP4		DP5	DP6			
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ
企業	8.2	7.7	8.2	7.1	8.6	7.6	8.4	7.8	8.5	8.5	8.0
卒業生	7.2	5.4	7.9	8.4	7.7	6.9	7.4	8.1	8.1	7.8	7.4
大学	7.6	6.8	8.1	7.3	8.0	7.0	7.6	7.4	7.5	7.8	7.1

DP 別に見た各項目に対する評価__図 2-4-2



３．専攻科の専門教育について

（アンケートの目的３）
専攻科の専門教育のレベルが社会のニーズに適合しているか考察・検証し改善提言につなげる。

評価値　＝ 8.4

（考察３）
１．十分高い評価を得ていることから専攻科の専門教育のレベルは社会のニーズに適合していると言える。
（分析 2-1 参照）
また、この結果は、アンケートの一次分析結果として令和４年度第１回企画調整会議
（令和４年４月 12 日（火））提出資料と同様の結果となっている。
（８．令和４年度第１回企画調整会議（令和４年４月 12 日（火））提出資料参照）

（分析３の観点）
専攻科で学んだ専門知識の広さや深さに対する評価値で分析する。

（分析３）
(1) 評価値は、10 段階評価で 8.4 である。（表 3-2）
(2) 全体では、93.8%が「３：概ね十分」以上の評価。（図 3-1）
(3) 特に、企業および大学に対するアンケートでは、「２：やや不十分」以下のネガティブな評価はない。
（図 3-1、表 3-2）
(4) 卒業生で「２：やや不十分」と回答した４名の学生の属性については、
建設業（設計）、製造業（生物系生産技技術）、製造業（機械系生産技技術）、大学院博士課程
となっている。いずれも、本校の教育全体については「３：概ね満足」と回答している。（表 3-2）

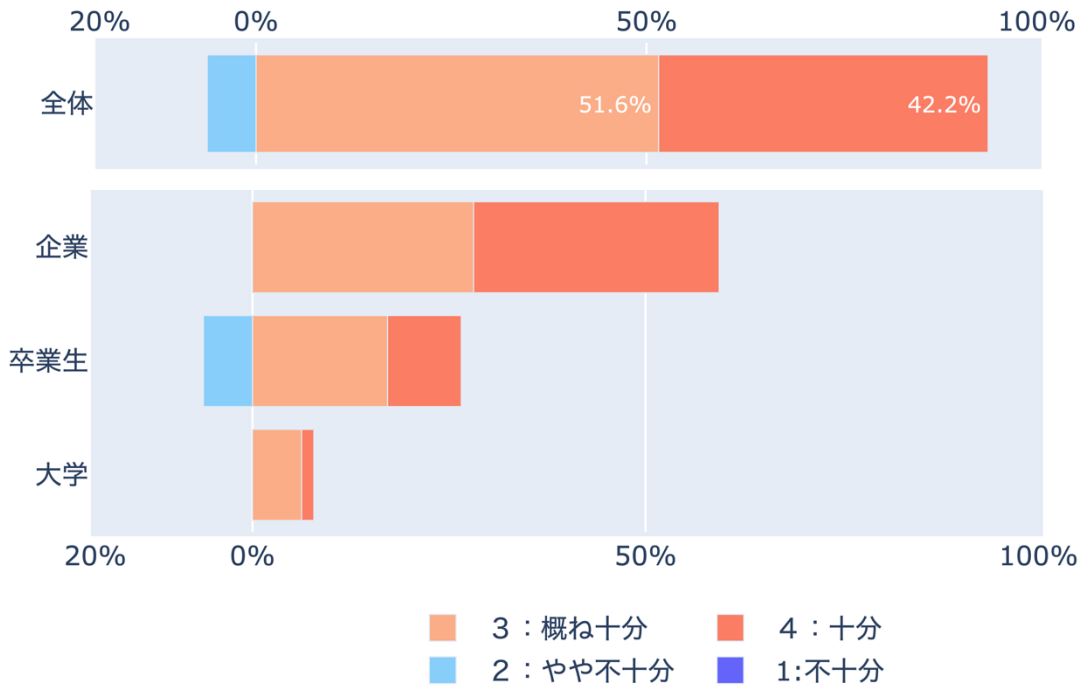
（参考）JABEE について
(1) 卒業生の半数以上が「３：ある程度役立っている」または、「４：大いに役立っている」と回答している。
（図 3-4-参、表 3-3-参）
(2) 企業においては、「３：ある程度考慮している」または、「４：大いに考慮している」との回答は、
18% 程度にとどまっている。（図 3-4-参）
(3) 「４：大いに考慮している（４：大いに役立っている）」または、「３：ある程度考慮している（３：ある程度役立っている）」と回答のあった企業や修了生の属性（業種および職種）については、下記の通り多岐にわたっている。
業種：鉱業，製造業，情報通信業，建設業，運輸業,サービス業
職種：研究・開発，製造・生産技術，システムエンジニア，設計，品質管理,営業・販売

3:専攻科の専門教育に対する評価

(使用データ 3) 企業アンケート 1 _Ad、企業アンケート 2 _Ad、企業アンケート 3 _Ad、卒業生アンケート_Ad、大学アンケート_Ad

(質問項目 3)
企業・大学：本学専攻科卒業生(2016 年～2021 年入社または進学)について専門知識の広さや深さについてどのようにお考えでしょうか 。
専攻科修了生：本学専攻科で学んだ専門知識の広さや深さについてどのようにお考えですか。

専攻科_専門知識の広さや深さ_図 3-1



専攻科_専門知識の広さや深さ_表 3-2

	企業	卒業生	大学	全体
4:十分	20	6	1	27
3:概ね十分	18	11	4	33
2:やや不十分	0	4	0	4
1:不十分	0	0	0	0
T:合計	38	21	5	64
A:評価ポイント(*/10)	8.8	7.7	8.0	8.4

※ 計算式補足:A={(4:十分)＊4＋(3:概ね十分である)*3+(2:やや不十分)*2+(1:不十分)*1}*{10/(T*4)}

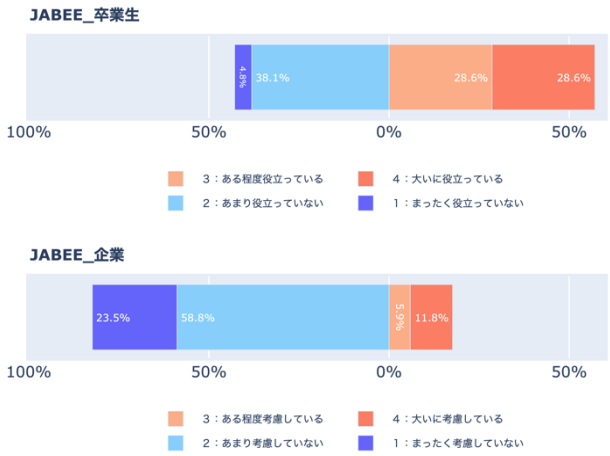
卒業生で「2:やや不十分」と回答した4名の学生の属性:
建設業(設計)、製造業(生物系生産技技術)、製造業(機械系生産技技術)、大学院博士課程
いずれも、本校の教育全体については「3:概ね満足」と回答している。

JABEE について_表 3-3-参

企業の回答	件数	修了生の回答	件数	全体の件数
4:大いに考慮している	2	4:大いに役立っている	6	8
3:ある程度考慮している	1	3:ある程度役立っている	6	7
2:あまり考慮していない	10	2:あまり役立っていない	8	18
1:まったく考慮していない	4	1:まったく役立っていない	1	5

4:大いに考慮している(4:大いに役立っている)または、3:ある程度考慮している(3:ある程度役立っている)
と回答のあった企業や修了生の属性(業種および職種)
業種:鉱業, 製造業, 情報通信業, 建設業, 運輸業,サービス業
職種:研究・開発, 製造・生産技術, システムエンジニア, 設計, 品質管理,営業・販売

JABEE について_図 3-4-参



４．特に充実すると良い教育について

（アンケートの目的４）
特に充実すると良い教育について考察し改善提言につなげる。

キーワード：③プレゼン、④ICT 教育、⑤実験実習、⑧グループワーク、⑭課題解決型(教育)
②英語　⑥専門(教育)　⑬資格取得(支援)

（考察４）
1．特に充実すると良い教育として、件数が多い項目(30% 以上)を挙げると次の通り。(分析４(1),(2))
③プレゼン(DP1)、④ICT 教育(DP2)、⑤実験実習(DP3)、⑥専門教育(DP3)
⑧グループワーク(DP4)、⑭課題解決型(教育) (DP6)
※ 企業で求められる能力として挙げられた件数が多い項目は、DP3、DP4、DP6 に関連している。
2. 上記項目は、卒業生や大学対象アンケートについても上位に入っている。
上記の他に、卒業生・大学のアンケート結果からは、次が挙げられる。
卒業生・大学：②英語、卒業生：⑬資格取得(支援)
また、卒業生の自由記述の中には、「年金制度、保険制度など、社会に出た際に必要となる情報の教育」などの記述も見られる。(分析４(3)～(5))

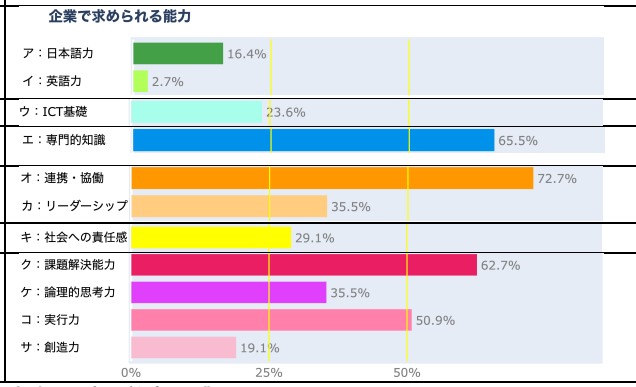
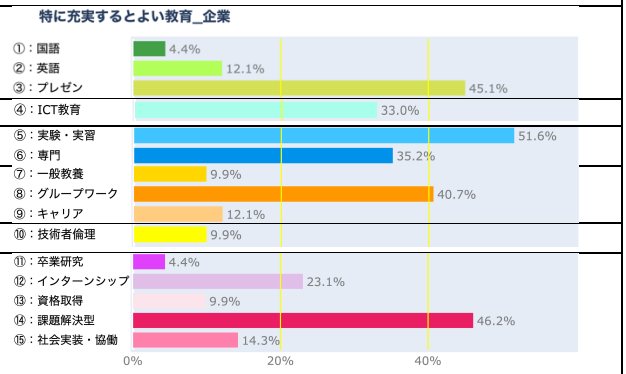
（分析４の観点）
2-1.において、企業で求められる能力について考察したが、これに対応した充実すると良い教育について企業による評価をベースに DP との対応にも留意して分析する。さらに、企業・卒業生・大学の比較をする。

（分析４）
(1) 企業で求められる能力として挙げられた件数が多い項目は、DP3、DP4、DP6 に関連している。
DP3、DP4、DP6 の各々について、充実すると良いとの回答が多い項目は次のとおり
DP3：⑤実験実習(51.6%)、DP4: ⑧グループワーク(40.7%)、DP6: ⑭課題解決型(教育)(46.2%)
(図 4-1、図 4-2)
(2) 全体(企業対象アンケート)を通して、30%を超える項目は、上記の他に次も挙げられる。
DP1：③プレゼン (45.1%)、DP2：ICT 教育(33.0%)、DP3：専門(教育)(35.2%)　(図 4-2)
(3) 企業・卒業生・大学および全体の上位６項目をあげると次の通り。
企業:⑤,⑭,③,⑧,⑥,④、卒業生:②,③,⑤,⑬,⑥,④、大学:②,⑭,⑪,⑥,④,③、(全体:⑤,③,⑭,⑥,②,⑧)
(図 4-3、図 4-4、図 4-5、図 4-6)
(4) 上記(1),(2)以外に卒業生および大学対象アンケートで多かった項目(30%以上)は次の通り。
②英語(卒業生:55.4%、大学:50.0%)、⑬資格取得(支援)(卒業生:43.2%)　(図 4-4、図 4-5)
(5) 自由記述では、
企業：「対人コミュニケーション」、「人に伝わるように説明する力」(DP1,DP4)
卒業生：「年金制度、保険制度など、社会に出た際に必要となる情報の教育」
大学：「自分で考えて行動し、検証できるようになる教育」(DP6)
などが挙げられている。

4:特に充実すると良い教育

（使用データ４）企業アンケート１_G、企業アンケート２_G、企業アンケート３、卒業生アンケート、大学アンケート

（質問項目４） 本学で特に充実すると良いと思われる教育はどのようなものですか。（複数選択可、自由記述有り）

DP	企業で求められる能力(DP 別)_図_4-1	特に充実すると良い教育(DP 別)_図_4-2
DP1		

DP2

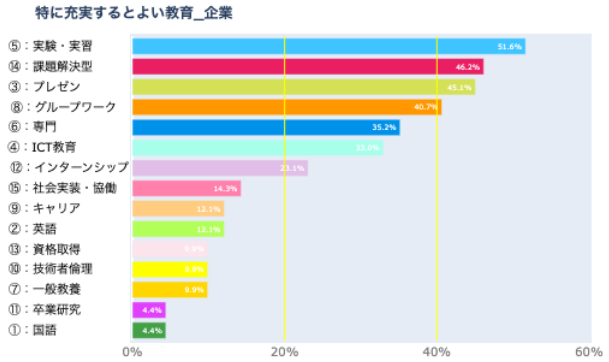
DP3

DP4

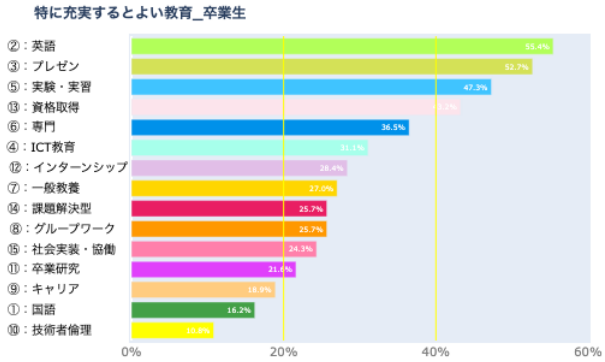
DP5

DP6

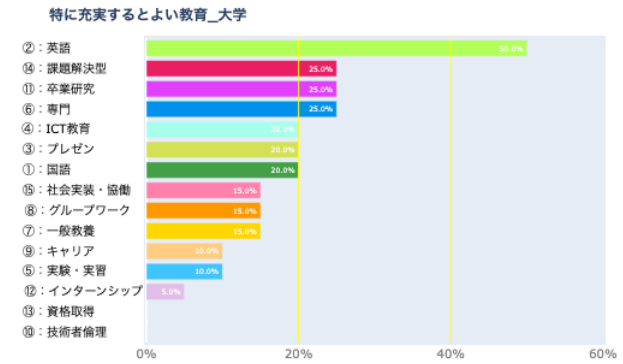
特に充実すると良い教育_企業_図_4-3



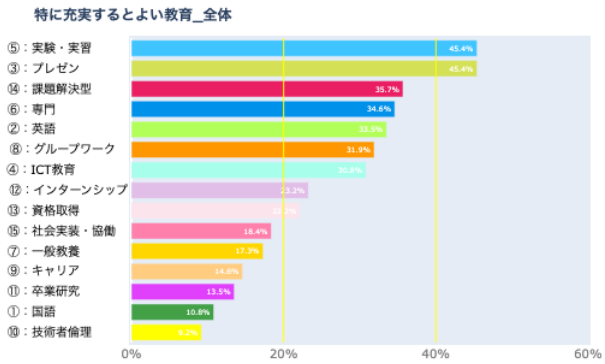
特に充実すると良い教育_卒業生_図_4-4



特に充実すると良い教育_大学_図_4-5



特に充実すると良い教育_全体_図_4-6



特に充実すると良い教育_自由記述_表_4-7

企業
学生（同年代）以外と関わる機会を増やす。色んな人、色んな考えがあることを知ってもらう。 人に伝わるように説明する力 対面コミュニケーション ソフトウェア品質に関する教育
卒業生
クラブ活動の活発化 年金制度、保険制度など、社会に出た際に必要となる情報の教育（仕組みの説明など） 建設分野の持続可能性についての理解 身だしなみの整え方の教育、ライントレースのような実践型の教育の充実 5年間継続して取り組むプロジェクト等 最先端技術や理論に関する教育
大学
大学院への進学意識 インターンシップに関係するかもしれませんが、様々なフィールドワーク 自分で考えて行動し、検証できるようになる教育 高専5年間（高校3年間+大学教養教育2年間）は、徹底的に基礎学問の教育に注力すべき期間かと考えます。

5．アンケート一覧およびその属性とアンケート項目

5-1. アンケート一覧

	アンケート回収締切	件数	卒業生(を含む)件数	専攻科生(を含む)件数	備考
企業アンケート 1	2022/2/7	90	49	21	企業アンケート 1 _G=卒業生が在籍する企業 企業アンケート 1 _Ad=専攻科修了生が在籍する企業 ※学科等の属性無アンケート
企業アンケート 2	2022/3/14	20	15	5	企業アンケート 2 _G=卒業生が在籍する企業 企業アンケート 2 _Ad=専攻科修了生が在籍する企業 ※学科等の属性無アンケート
企業アンケート 3	2022/6/30	27	27	12	企業アンケート 3 _Ad=専攻科修了生が在籍する企業
卒業生アンケート	2022/7/31	74	74	20	卒業生アンケート _Ad＝専攻科修了生
大学アンケート	2022/6/30	20	20	5	大学アンケート _Ad＝専攻科修了生が在籍する大学

5-2. アンケートの属性

企業アンケート 3 の属性

業種

0	10：不動産業;	5：建築社会デザイン工学科;	1
1	半導体設計;	1：情報通信エレクトロニクス工学科;2：制御情報システム工学科;	1
2	地方自治体;	5：建築社会デザイン工学科;6：生物化学システム工学科;8：生産システム工学専攻;	1
3	情報サービス業;	4：機械知能システム工学科;	1
4	技術サービス;	3：人間情報システム工学科;	1
5	1：製造業;	6：生物化学システム工学科;	5
6	〃	1：情報通信エレクトロニクス工学科;3：人間情報システム工学科;2：制御情報システム工学科;	1
7	〃	1：情報通信エレクトロニクス工学科;4：機械知能システム工学科;8：生産システム工学専攻;2...	1
8	〃	2：制御情報システム工学科;3：人間情報システム工学科;6：生物化学システム工学科;7：電子...	1
9	〃	2：制御情報システム工学科;4：機械知能システム工学科;1：情報通信エレクトロニクス工学科;...	1
10	〃	3：人間情報システム工学科;	1
11	〃	4：機械知能システム工学科;6：生物化学システム工学科;	1
12	〃	6：生物化学システム工学科;8：生産システム工学専攻;4：機械知能システム工学科;	1
13	〃	7：電子情報システム工学専攻;	1
14	1：製造業;エネルギー;	6：生物化学システム工学科;8：生産システム工学専攻;1：情報通信エレクトロニクス工学科;	1
15	3：情報通信業;	1：情報通信エレクトロニクス工学科;3：人間情報システム工学科;	1
16	〃	1：情報通信エレクトロニクス工学科;3：人間情報システム工学科;7：電子情報システム工学専攻;	1
17	〃	2：制御情報システム工学科;1：情報通信エレクトロニクス工学科;7：電子情報システム工学専攻...	1
18	〃	4：機械知能システム工学科;7：電子情報システム工学科;	1
19	3：情報通信業;8：建設業;	5：建築社会デザイン工学科;8：生産システム工学専攻;	1
20	4：電気・ガス・水道 関連業;	5：建築社会デザイン工学科;4：機械知能システム工学科;8：生産システム工学専攻;	1
21	6：サービス業;	4：機械知能システム工学科;	1
22	8：建設業;	4：機械知能システム工学科;5：建築社会デザイン工学科;	1

※ 業種でソート（重複有り）

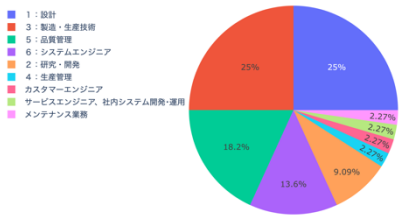
職種

0	カスタマーエンジニア;	1：情報通信エレクトロニクス工学科;3：人間情報システム工学科;2：制御情報システム工学科;	1
1	サービスエンジニア、社内システム開発・運用;	3：人間情報システム工学科;	1
2	メンテナンス業務;	4：機械知能システム工学科;	1
3	1：設計;	1：情報通信エレクトロニクス工学科;2：制御情報システム工学科;	1
4	1：設計;	5：建築社会デザイン工学科;8：生産システム工学専攻;	1
5	1：設計;	7：電子情報システム工学専攻;	1
6	1：設計;	4：機械知能システム工学科;7：電子情報システム工学専攻;	1
7	1：設計;事務職、工事管理、建築指導、建築審査他;	5：建築社会デザイン工学科;6：生物化学システム工学科;8：生産システム工学専攻;	1
8	1：設計;施設、設備維持管理;	4：機械知能システム工学科;5：建築社会デザイン工学科;	1
9	1：設計;3：製造・生産技術\n;5：品質管理;	1：情報通信エレクトロニクス工学科;4：機械知能システム工学科;8：生産システム工学専攻;2...	1
10	2：研究・開発;1：設計;	2：制御情報システム工学科;4：機械知能システム工学科;1：情報通信エレクトロニクス工学科;...	1
11	2：研究・開発;3：製造・生産技術\n;	6：生物化学システム工学科;	1
12	3：製造・生産技術\n;	NaN	1
13	3：製造・生産技術\n;1：設計;設備保全;	6：生物化学システム工学科;8：生産システム工学専攻;4：機械知能システム工学科;	1
14	3：製造・生産技術\n;1：設計;設備建設・施工管理;	5：建築社会デザイン工学科;4：機械知能システム工学科;8：生産システム工学専攻;	1
15	3：製造・生産技術\n;2：研究・開発;	2：制御情報システム工学科;3：人間情報システム工学科;6：生物化学システム工学科;7：電子...	1
16	3：製造・生産技術\n;4：生産管；5：品質管理;	4：機械知能システム工学科;6：生物化学システム工学科;	1
17	3：製造・生産技術\n;5：品質管理;	6：生物化学システム工学科;	1
18	3：製造・生産技術\n;6：システムエンジニア;	6：生物化学システム工学科;8：生産システム工学専攻;1：情報通信エレクトロニクス工学科;	1
19	5：品質管理;	5：建築社会デザイン工学科;	1
20	5：品質管理;	6：生物化学システム工学科;	1
21	5：品質管理;2：研究・開発;	NaN	1
22	6：システムエンジニア;	3：人間情報システム工学科;	1
23	6：システムエンジニア;	2：制御情報システム工学科;1：情報通信エレクトロニクス工学科;7：電子情報システム工学専攻...	1
24	6：システムエンジニア;	1：情報通信エレクトロニクス工学科;3：人間情報システム工学科;7：電子情報システム工学専攻;	1
25	6：システムエンジニア;	4：機械知能システム工学科;	1
26	6：システムエンジニア;1：設計;3：製造・生産技術\n;	1：情報通信エレクトロニクス工学科;3：人間情報システム工学科;	1

※ 職種でソート（重複有り）

0	1：製造業;	14
1	3：情報通信業;	6
2	8：建設業;	2
3	10：不動産業;	1
4	半導体設計;	1
5	地方自治体;	1
6	技術サービス;	1
7	4：電気・ガス・水道 関連業;	1
8	6：サービス業;	1

	職種	件数
0	3：製造・生産技術	18
1	2：研究・開発	14
2	1：設計	13
3	学生	9
4	6：システムエンジニア	6
5	5：品質管理	9
6	4：生産管理	4
7	8：営業・販売	4
8	現場管理	3
9	9：マーケティング	1
10	カスタマーエンジニア	1
11	コンサルティング	1
12	航空機整備	1
13	自衛官	1



卒業生アンケートの属性

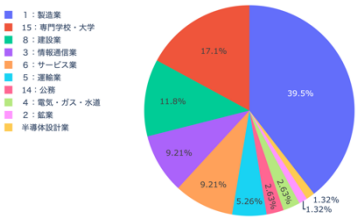
職業・業種等

1：情報通信エレクトロニクス工学科	3：情報通信業;	3
	15：専門学校生・大学生・大学院生;	2
	14：公務;	1
	1：製造業;	1
	半導体設計業;	1
2：制御情報システム工学科	1：製造業;	1
4：機械知能システム工学科	1：製造業;	9
	5：運輸業;	3
	6：サービス業;	2
	15：専門学校生・大学生・大学院生;	2
	3：情報通信業;	2
	4：電気・ガス・水道 関連業\n;	1
	2：鉱業;	1
	3：情報通信業;6：サービス業;	1
5：建築社会デザイン工学科	8：建設業;	8
	6：サービス業;	4
	15：専門学校生・大学生・大学院生;	3
	4：電気・ガス・水道 関連業\n;	1
	8：建設業;1：製造業;	1
	5：運輸業;	1
	3：情報通信業;	1
	14：公務;	1
6：生物化学システム工学科	1：製造業;	18
	15：専門学校生・大学生・大学院生;	6

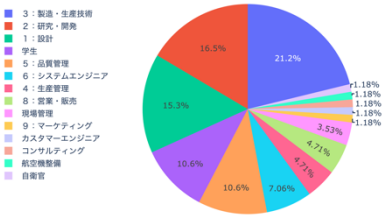
職種

1：情報通信エレクトロニクス工学科	1：設計;2：研究・開発;6：システムエンジニア;	2
	学生;	2
	自衛官;	1
	2：研究・開発;	1
	6：システムエンジニア;	1
	現場施行;	1
2：制御情報システム工学科	2：研究・開発;1：設計;	1
4：機械知能システム工学科	6：システムエンジニア;	3
	2：研究・開発;	3
	5：品質管理;	3
	3：製造・生産技術;	2
	1：設計;	2
	8：営業・販売;	2
	カスタマーエンジニア;	1
	航空機整備;	1
	1：設計;3：製造・生産技術;	1
	博士課程;	1
	4：生産管理\n;	1
	1：設計;2：研究・開発;	1
5：建築社会デザイン工学科	1：設計;	5
	現場管理;	2
	2：研究・開発;	2
	5：品質管理;	2
	5：品質管理;コンサルティング;	1
	8：営業・販売;	1
	8：営業・販売;1：設計;	1
	9：マーケティング・調査・商品企画・デザイン;ダンススタジオアシスタント;	1
	学生;	1
	6：システムエンジニア;	1
	大学生;	1
	1：設計;5：品質管理;	1
	4：生産管理\n;	1
6：生物化学システム工学科	3：製造・生産技術;	12
	2：研究・開発;	3
	4：生産管理\n;	2
	学生;	2
	専攻科進学;	1
	2：研究・開発;3：製造・生産技術;	1
	3：製造・生産技術;5：品質管理;	1
	専攻科(生産システム工学専攻);	1
	2：研究・開発;3：製造・生産技術;5：品質管理;	1

	職業・業種等	件数
0	1：製造業	30
1	15：専門学校・大学	13
2	8：建設業	9
3	3：情報通信業	7
4	6：サービス業	7
5	5：運輸業	4
6	14：公務	2
7	4：電気・ガス・水道	2
8	2：鉱業	1
9	半導体設計業	1

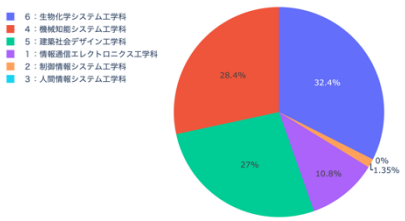


	職種	件数
0	3：製造・生産技術	18
1	2：研究・開発	14
2	1：設計	13
3	学生	9
4	6：システムエンジニア	6
5	5：品質管理	9
6	4：生産管理	4
7	8：営業・販売	4
8	現場管理	3
9	9：マーケティング	1
10	カスタマーエンジニア	1
11	コンサルティング	1
12	航空機整備	1
13	自衛官	1

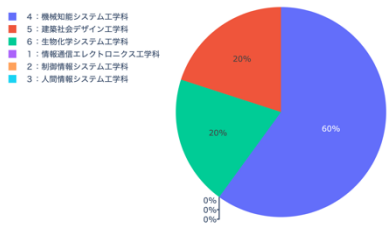


	本科卒業	専攻科修了
1：情報通信エレクトロニクス工学科	8	0
2：制御情報システム工学科	1	0
3：人間情報システム工学科	0	0
4：機械知能システム工学科	21	12
5：建築社会デザイン工学科	20	4
6：生物化学システム工学科	24	4

本科卒業生の学科別割合



専攻科修了生の学科別割合

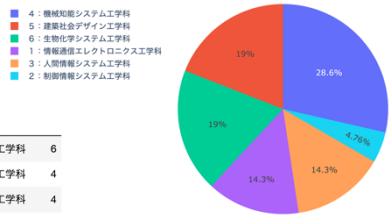


大学アンケートの属性	
学部（全て工学部）	学科

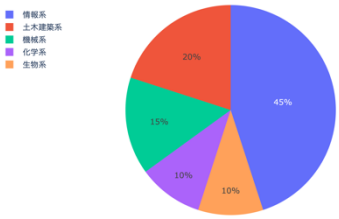
１：工学部	４：機械知能システム工学科;	5
	５：建築社会デザイン工学科;	4
	６：生物化学システム工学科;	4
	１：情報通信エレクトロニクス工学科;	3
	３：人間情報システム工学科;	2
	２：制御情報システム工学科;	1
	３：人間情報システム工学科;４：機械知能システム工学科;	1

化学	６：生物化学システム工学科;	1
土木建築学科	５：建築社会デザイン工学科;	1
建築・都市システム学系	５：建築社会デザイン工学科;	2
情報・知能工学	３：人間情報システム工学科;	1
情報・知能工学課程	３：人間情報システム工学科;	1
情報・経営システム工学課程	４：機械知能システム工学科;	1
情報知能工学	１：情報通信エレクトロニクス工学科;	1
情報電気	１：情報通信エレクトロニクス工学科;	1
情報電気工学科	３：人間情報システム工学科;４：機械知能システム工学科;	1
	１：情報通信エレクトロニクス工学科;	1
	２：制御情報システム工学科;	1
材料・応用化学科	６：生物化学システム工学科;	1
機械	４：機械知能システム工学科;	1
機械システム	４：機械知能システム工学科;	1
機械系	４：機械知能システム工学科;	1
生物機能工学	６：生物化学システム工学科;	1
生物機能工学課程	６：生物化学システム工学科;	1
自然科学研究科土木建築学専攻	５：建築社会デザイン工学科;	1
電気・電子情報工学	４：機械知能システム工学科;	1

(工学部内の)本校卒業生の学科内訳



0	４：機械知能システム工学科	6
1	５：建築社会デザイン工学科	4
2	６：生物化学システム工学科	4
3	１：情報通信エレクトロニクス工学科	3
4	３：人間情報システム工学科	3
5	２：制御情報システム工学科	1



0	情報系	9
1	土木建築系	4
2	機械系	3
3	化学系	2
4	生物系	2

5-3. アンケート項目

企業アンケート 1（付録 A 参照）

1.「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」をご一読の上、次のアンケートにお答えください。
平成 **31** 年度(令和元年度)カリキュラムでは 高専版リベラルアーツ教育 を以下のように再定義したうえで，リテラシー，コンピテンシー教育の充実 を図っています。 ※ 高専版リベラルアーツ教育 修学期間が 5 年間であり，早期専門教育をおこなう必要性から，単に一般 教養的な知識習得を拡充するのではなく，さまざまな知識，学修成果を総 合的に活用する学習活動を通して，思考力や課題設定，問題解決に必要な 態度，志向性などの育成を図る。このカリキュラム改訂は，社会的な動向やニーズ，あるいはエ ンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか? **4:**十分汲み取っている **3:**汲み取っている **2:**十分とはいえない **1:**汲み取っていない
2.「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」をご一読の上、次のアンケートにお答えください。
本校では，社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育(**CO- OP** 教育)の充実を図っています。
このカリキュラムは社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニア の実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか?
4:十分汲み取っている 3:汲み取っている 2:十分とはいえない 1:汲み取っていない
3. 貴社に入社を希望する本学卒業生に期待する資質・能力としてどのようなものを求めていますか？
特に期待するものを以下 ア~サ の中から 4 つ以内でお選びください。
ア:日本語力・文章力 イ:英語力 ウ:**ICT** に関する基礎的技術の活用能力 エ:専門的知識及び関連分野の知識
オ:連携・協働して業務を遂行する能力 カ:リーダーシップを発揮して業務を遂行する能力
キ:社会，環境，市民などへの責任感をもって業務に取組む態度 ク:課題解決能力 ケ:論理的思考力 コ:実行力 サ:創造力
4. 貴社に入社を希望する本学卒業生に期待する資質・能力としてどのような ものを求めていますか。
上記の設問 3 以外の項目で、特に期待するものがございましたらご記入く ださい。
5. 最近(2018 年~2020 年の間)貴社に入社した本学卒業生がいるでしょうか。 1:はい 2:いいえ
6. 最近(2018 年~2020 年の間)貴社に入社した本学卒業生がいる場合 最近(2016 年~2020 年の間)貴社に入社した本学卒業生に関して、
貴社が求める人材像との比較において（質問項目3の）ア~サの資質・能力についてどのように感じられますか？
4:十分 3:概ね十分である 2:やや不十分 1:不十分
7. 設問項目 6.に関連し、本学で特に充実するとよいと思われる教育はどのようなものですか。 以下 1~15 の項目について該当する項目にチェックを
入れてくだ さい(複数選択可です)。
1:国語教育 2:英語教育 3:研究成果発表などプレゼン能力を高める教育 4:**ICT** 教育 5:より実践的な実験・実習
6:専門教育及び隣接分野に関する教育 7:一般常識・教養教育 8:グループワークを伴う教育 9:キャリア教育 10:技術者倫理 11:卒業研究
12:インターンシップ 13:資格取得支援 14:課題解決型教育 15:社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育
8. その他、上記 設問 7 にあげられている項目以外で、より充実する とよいと思われる教育がございましたらご記入ください。
9. 最近(2016 年~2021 年の間)貴社に入社した本学専攻科修 了生がいるでしょうか？ 1:はい 2:いいえ
10. 最近(2016 年~2021 年の間)貴社に入社した本学専攻科修了生がいる場合本学専攻科卒業生について
専門知識の広さや深さについてどのようにお考えでしょうか？ 4:十分 3:概ね十分である 2:やや不十分 1:不十分

企業アンケート 2（付録 B 参照）

企業アンケート 1 の 1 ～10 の質問項目および
11. 本校は、JABEE 認定プログラムに参加しております。貴社では、採 用・人事・業務などで、JABEE 認定プログラムの修了生であるか、 そうでないかについて考慮される場面はありますか? 4:大いに考慮している 3:ある程考慮している 2:あまり考慮していない 1:まったく考慮していない

企業アンケート 3（付録 C 参照）

企業アンケート 1 および 2 の質問項目 6 ～11 および属性ついての質問下記 3 項目
A-1 . 貴社に採用いただいている本学卒業生の学科等を、次の選択肢か らお答えください。(複数選択可)。
1:情報通信エレクトロニクス工学科 2:制御情報システム工学科 3:人間情報システム工学科 4:機械知能システム工学科
5:建築社会デザイン工学科 6:生物化学システム工学科 7:電子情報システム工学専攻 8:生産システム工学専攻
B-1. 貴社の業種を、次の選択肢からお答えください(複数選択可)。 ※ その他の欄は記述式です。
1:製造業 2:鉱業 3:情報通信業 4:電気・ガス・水道 関連業 5:運輸業 6:サービス業 7:農林・水産業 8:建設業 9:商業 **10**:不動産業
11:金融・保険業 **12**:教育・学習支援業 **13**:医療・福祉 14:その他
C -1. 本学卒業生が配属された職種は、どの分野ですか。(複数選択 可)。 ※ その他の欄は記述式です。
1:設計 2:研究・開発 3:製造・生産技術 4:生産管 5:品質管理 6:システムエンジニア 7:セールスエンジニア 8:営業・販売 9:マーケティング・調査・商品企画・デザイン 10:その他

卒業生アンケート（付録 D 参照）

企業アンケート 1 の質問項目 1,2,7,8 および 6,9,10 に対応する質問 6-G,9-G,10-G、全体の満足度を問う質問 12、および属性ついての質問下記 4 項目と JABEE に関する質問 11-G
A-2 . 卒業学科を下記の選択肢から 1 つお選びください。
1:情報通信エレクトロニクス工学科 2:制御情報システム工学科 3:人間情報システム工学科 4:機械知能システム工学科 5:建築社会デザイン工学科 6:生物化学システム工学科
A-3. 専攻科を修了された方は、修了専攻をお選びください。 1:電子情報システム工学専 攻 2:生産システム工学専攻 3:該当なし
B-2. 現在の職業・業種等を、次の選択肢からお答えください(複数選 択可)。 1:製造業 2:鉱業 3:情報通信業 4:電気・ガス・水道 関連業 5:運輸業 6:サービス業
7:農林・水産業 8:建設業 9:商業 10:不動産業 11:金融・保険業 12:教育・学習支援業 13:医療・福祉 14:公務 15:専門学校生・大学生・大学院生 16:自営業 17.その他
C -2.現在の職種を、次の選択肢からお答えください(複数選択可)。 1:設計 2:研究・開発 3:製造・生産技術 4:生産管理 5:品質管理 6:システムエンジニア
7:セールスエンジニア 8:営業・販売 9:マーケティング・調査・商品企画・デザイン 10:その他
6-G. 本学の教育が、ア~サの資質・能力を身につけ・伸長するために役立った か、どのように感じられますか。4:役立った 3:概ね役立った 2:あまり役立たなかった 1:役立たなかった
9-G. 本学専攻科修了生の方ですか? 1:はい 2:いいえ
10-G. 本学専攻科で学んだ専門知識の広さや深さについてどのよう にお考えですか。4:十分 3:概ね十分である 2:やや不十分 1:不十分
11-G. JABEE 認定プログラムの修了生であることが、役に立っているとお 考えですか? 4:大いに役立っている 3:ある程役立っている 2:あまり役立っていない 1:まったく役立っていない
12. 本校での教育全般について、満足度はいかがですか。4:満足 3:概ね満足 2:あまり満足していない 1:満足していない

大学アンケート（付録 E 参照）

企業アンケート 1 の質問項目 1,2,6～10 および属性ついての質問下記 4 項目
A-4. 編入した本校卒業生の学科を、次の選択肢からお答えください（複数選択可）。
1:情報通信エレクトロニクス工学科 2:制御情報システム工学科 3:人間情報システム工学科 4:機械知能システム工学科 5:建築社会デザイン工学科 6:生物化学システム工学科
A-5. 貴研究室に進学した本校専攻科修了生がおりましたら、次の選択肢からお答えください（複数回答可）。1：電子情報システム工学専攻2：生産システム工学専攻3：該当なし
D-1. 回答者様の所属学部を、次の選択肢からお答えください。1：工学部2：理学部3：農学部 4：その他
D-2. 回答者の所属学科（学系）について、御記入ください。

6．アンケート質問項目と DP の関係(グラフカラー対応)

ディプロマポリシー	資質・能力	教育
DP1#00c853 日本語および英語のコミュニケーション能力	ア）日本語力#43a047 イ）英語力#b2ff59	①国語#43a047 ②英語#b2ff59 ③プレゼン#d4e157
DP2#a7ffeb ICT に関する基本的技術および工学への応用技術	ウ）ICT 基礎#a7ffeb	④ ICT 教育#a7ffeb
DP3#0091ea 専門分野の技術に関する知識と能力を持ち、 複眼的な視点から問題を解決する能力	エ）専門的知識#0091ea	⑤実験・実習#40c4ff ⑥専門#0091ea (⑪、⑫、⑬、⑭、⑮)
DP4#ff9800 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性	オ）連携・協働#ff9800 カ）リーダーシップ#ffcc80	⑦一般教養#ffd600 ⑧グループワーク#ff9800 ⑨キャリア#ffcc80
DP5#ffff00 広い視野と技術のあり方に対する倫理観	キ）社会への責任感#ffff00	⑩技術者倫理#ffff00
DP6#e91e63 知的探求心を持ち、主体的、創造的に 問題に取り組むことができる能力	ク）課題解決能力#e91e63 ケ）論理的思考力#e040fb コ）実行力#ff80ab サ）創造力#f8bbd0	⑪卒業研究#e040fb ⑫インターンシップ(⑨キャリア) #e1bee7 ⑬資格取得#fce4ec ⑭課題解決型#e91e63 ⑮社会実装・協働#ff80ab

(DP1) 日本語および英語のコミュニケーション能力
(DP2) ICT に関する基本的技術および工学への応用技術
(DP3) 専門分野の技術に関する知識と能力を持ち、複眼的な視点から問題を解決する能力（本科）
（多分野における技術の基礎となる知識と技能およびその分野の専門技術に関する高度な知識と能力を持ち、複眼的な視点から問題を解決し、産業技術分野への活用を実践できる能力（専攻科））
(DP4) 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性
(DP5) 広い視野と技術のあり方に対する倫理観
(DP6) 知的探求心を持ち、主体的、創造的に問題に取り組むことができる能力

能力	省略形
ア）日本語力・文章力	ア）日本語力
イ）英語力	イ）英語力
ウ）ICT に関する基礎的技術の活用能力	ウ）ICT 基礎
エ）専門的知識及び関連分野の知識	エ）専門的知識
オ）連携・協働して業務を遂行する能力	オ）連携・協働
カ）リーダーシップを発揮して業務を遂行する能力	カ）リーダーシップ
キ）社会，環境，市民などへの責任感をもって業務に取組む態度	キ）社会への責任感
ク）課題解決能力	ク）課題解決能力
ケ）論理的思考力	ケ）論理的思考力
コ）実行力	コ）実行力
サ）創造力	サ）創造力
教育	**省略形**
① 国語教育	①国語
② 英語教育	②英語
③ 研究成果発表などプレゼン能力を高める教育	③プレゼン
④ICT 教育	④ICT
⑤ より実践的な実験・実習	⑤実験・実習
⑥ 専門教育及び隣接分野に関する教育	⑥専門
⑦ 一般常識・教養教育	⑦ 一般・教養
⑧ グループワークを伴う教育	⑧グループワーク
⑨ キャリア教育	⑨キャリア
⑩ 技術者倫理	⑩技術者倫理
⑪ 卒業研究	⑪卒業研究
⑫ インターンシップ	⑫インターンシップ
⑬ 資格取得支援	⑬資格取得
⑭ 課題解決型教育	⑭課題解決型
⑮ 社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育	⑮社会実装・協働

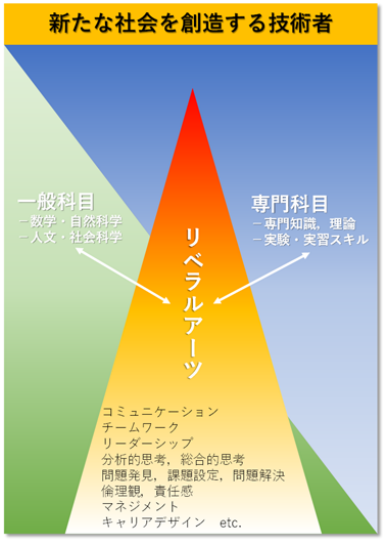
熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について

熊本高専は平成 31 年度（令和元年度）から新カリキュラムを導入しており，令和 5 年度完成年度に向けて特徴的な教育の実質化を図っている。近年，わが国の高等教育は大きな改革を求められている。予測不可能な時代を迎えるにあたって，新たな社会を創造するために，読解力，数学的思考力を含む基礎的で普遍的な知識・理解と汎用的技能を分離横断的に身に付けていくことが重要であると指摘されている（中教審平成 30 年 11 月答申『2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン』）。また，国際的にも，Graduate Attributes and Professional Competencies（IEA：国際エンジニアリング連合）や CDIO Syllabus Ver. 2 にも示されるように，知識，理論を修得することに加え，それらを実践の場で活用するための資質，態度，志向性などを育成することが重視されている。こうした状況を踏まえ，本校のカリキュラムでは体系的なリベラルアーツ教育を通して各専門学科で修得する知識や技術を統合的，創造的に活用するためのコンピテンシー育成を図っている。

１．リベラルアーツを基盤とした専門総合力育成

平成 31 年度（令和元年度）カリキュラムの理念は「高専版リベラルアーツ教育を基盤とした専門総合力の育成」である。1～4 年生にリベラルアーツコア科目を開設し，思考力（分析的思考，総合的思考），問題発見・課題設定・問題解決，コミュニケーション，チームワーク，リーダーシップなどのリテラシー・コンピテンシー教育をおこない，創成能力，デザイン能力の向上を図るものである（右図）。

リベラルアーツコア科目はハブ科目と位置付けられ，一般科目，専門科目で学んだ知識等を総合的に活用した探求型の学習活動に取り組み，さらにその学びの成果を一般科目，専門科目の学習で発展させることにより，リテラシー，コンピテンシー教育を充実させている。リベラルアーツ教育を基盤として，社会実装教育，プロジェクト学習，卒業研究等の研究活動を通してそれぞれの専門分野における総合力を育成するカリキュラムとして設計している。



令和元年度カリキュラム概念図

２．社会実装，課題解決型教育の強化

熊本高専は，熊本キャンパスの情報通信系 3 学科と八代キャンパスの複合融合系 3 学科を有する。各専門学科では専門知識の習得とともに，実験・実習をとしたスキルの習得，そして知識やスキルを統合的に活用するプロジェクト型の学習を通した社会課題発見，問題解決，そしてエンジニアリングを通した社会貢献への態度・志向性の醸成を目指している。

地域社会と連携した研究プロジェクト，さらに社会実装教育を推進するために，地域協働センターを中心に学外との連携を図り，共同研究，COOP 教育等の実施を推進している。地域防災・減災，地域社会活性化，農業・食品加工など多岐にわたる共同研究および協働教育の成果は，地域企業と共催するメガ・ミーティングなどで公開され，地域社会と連携したイノベーション創出のための枠組（オープン・イノベーション）を構築している。さらに，高専機構が推進する「Society 5.0 型未来技術人財育成事業」（GEAR 5.0）の介護・医工学分野における中核拠点校として研究・開発を推進しており，これらの成果を教育活動に還元し，社会課題の解決に貢献できる技術者の育成を目指したカリキュラムを構築している。

8．各アンケートのフォームズ PDF

A. 企業アンケート１(質問項目フォームズ質問項目)

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_八代C(キャリア研修会)

主として、本校の教育が社会のニーズに合っているかについてお尋ねする内容となっております。
本アンケートは、本学の自己点検・評価に係る参考資料とさせて頂きます。

※　アンケート項目１およびアンケート項目２につきましては、
お持ち帰り頂きました資料「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」
をご参照いただき質問にご回答ください。

御多忙中のところ誠に恐れいりますが、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP&...FAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUNTY5TFZTVIE5U0hYRE84UkdER1dMMEIwOS4u　1 / 10ページ

1. ※「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」↓
https://kosenjp-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/isogawa_kumamoto_kosen-ac_jp/ERjnzOlSItNMkwt4DCyHIAUBPgyUpR8W4p4CPd8P2IZO_w?e=PKwHhw
をご一読の上、次のアンケートにお答えください。

平成31年度（令和元年度）カリキュラムでは高専版リベラルアーツ教育を以下のように再定義したうえで，リテラシー，コンピテンシー教育の充実を図っています。
※ 高専版リベラルアーツ教育
修学期間が5年間であり，早期専門教育をおこなう必要性から，単に一般教養的な知識習得を拡充するのではなく，さまざまな知識，学修成果を総合的に活用する学習活動を通して，思考力や課題設定，問題解決に必要な態度，志向性などの育成を図る。（参考：関連リンク↓）
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/02/20210226a/
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/09/20210924a/

このカリキュラム改訂は，社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか？ *

4:十分汲み取っている	3:汲み取っている	2:十分とはいえない	1:汲み取っていない
○	○	○	○

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP&...FAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUNTY5TFZTVIE5U0hYRE84UkdER1dMMEIwOS4u　2 / 10ページ

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_八代C(キャリア研修会)　R5/01/20 17:10

2. ※「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」(1番目でご覧頂いたものと同じものです)
をご一読の上、次のアンケートにお答えください。

本校では，社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育（CO-OP教育）の充実を図っています。（参考：関連リンク↓）
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/04/20210402b/
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/04/20210419b/

このカリキュラムは社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか？ *

4:十分汲み取っている	3:汲み取っている	2:十分とはいえない	1:汲み取っていない
○	○	○	○

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_八代C(キャリア研修会)　R5/01/20 17:10

本学卒業生に期待する資質・能力

3. 貴社に入社を希望する本学卒業生に期待する資質・能力としてどのようなものを求めていますか。
特に期待するものを以下 ア～サ の中から4つ以内でお選びください。
*

- ☐ ア：日本語力・文章力
- ☐ イ：英語力
- ☐ ウ：ICTに関する基礎的技術の活用能力
- ☐ エ：専門的知識及び関連分野の知識
- ☐ オ：連携・協働して業務を遂行する能力
- ☐ カ：リーダーシップを発揮して業務を遂行する能力
- ☐ キ：社会，環境，市民などへの責任感をもって業務に取組む態度
- ☐ ク：課題解決能力
- ☐ ケ：論理的思考力
- ☐ コ：実行力
- ☐ サ：創造力

4. 貴社に入社を希望する本学卒業生に期待する資質・能力としてどのようなものを求めていますか。
上記の設問３ 以外の項目で、特に期待するものがございましたらご記入ください。

5. 最近（2018 年～2020 年の間）貴社に入社した本学卒業生がいるでしょうか。

- ○ １：はい
- ○ ２：いいえ

最近（2018 年～2020 年の間）貴社に入社した本学卒業生

6. 最近（2016 年～2020 年の間）貴社に入社した本学卒業生に関して、貴社が求める人材像との比較において以下ア～サの資質・能力についてどのように感じられますか。 *

	４：十分	３：概ね十分である	２：やや不十分	１：不十分
ア：日本語力・文章力	○	○	○	○
イ：英語力	○	○	○	○
ウ：ICTに関する基礎的技術の活用能力	○	○	○	○
エ：専門的知識及び関連分野の知識	○	○	○	○
オ：連携・協働して業務を遂行する能力	○	○	○	○
カ：リーダーシップを発揮して業務を遂行する能力	○	○	○	○
キ：社会，環境，市民などへの責任感をもって業務に取組む態度	○	○	○	○
ク：課題解決能力	○	○	○	○
ケ：論理的思考力	○	○	○	○
コ：実行力	○	○	○	○
サ：創造力	○	○	○	○

7. 設問項目６．に関連し、本学で特に充実するとよいと思われる教育はどのようなものですか。
以下①～⑮の項目について該当する項目にチェックを入れてください（複数選択可です）。
*

- ☐ ①：国語教育
- ☐ ②：英語教育
- ☐ ③：研究成果発表などプレゼン能力を高める教育
- ☐ ④：ICT教育
- ☐ ⑤：より実践的な実験・実習
- ☐ ⑥：専門教育及び隣接分野に関する教育
- ☐ ⑦：一般常識・教養教育
- ☐ ⑧：グループワークを伴う教育
- ☐ ⑨：キャリア教育
- ☐ ⑩：技術者倫理
- ☐ ⑪：卒業研究
- ☐ ⑫：インターンシップ
- ☐ ⑬：資格取得支援
- ☐ ⑭：課題解決型教育
- ☐ ⑮：社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育

8. その他、上記 設問７にあげられている項目以外で、より充実するとよいと思われる教育がございましたらご記入ください。

9. 最近（2016 年～2020 年の間）貴社に入社した本学専攻科修了生がいるでしょうか。
*

- ○ １：はい
- ○ ２：いいえ

最近（2016 年～2020 年の間）貴社に入社した本学専攻科

10. 本学専攻科卒業生について　専門知識の広さや深さについてどのようにお考えでしょうか
*

４：十分	３：概ね十分	２：やや不十分	１：不十分
○	○	○	○

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

Microsoft Forms

B. 企業アンケート２(質問項目フォームズ質問項目)

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_熊本C(キャリア研修会)

主として、本校の教育が社会のニーズに合っているかについてお尋ねする内容となっております。
本アンケートは、本学の自己点検・評価に係る参考資料とさせて頂きます。

※　アンケート項目１およびアンケート項目２につきましては、
お持ち帰り頂きました資料「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」
をご参照いただき質問にご回答ください。

御多忙中のところ誠に恐れいりますが、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP...FAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUMDM5MEFVMEVEVUxET0Y3OTEzN1kwNUlHVC4u　1 / 10ページ

1. ※「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」↓
https://kosenjp-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/isogawa_kumamoto_kosen-ac_jp/ERjnzOlSItNMkwt4DCyHIAUBPgyUpR8W4p4CPd8P2IZO_w?e=PKwHhw
をご一読の上、次のアンケートにお答えください。

平成31年度（令和元年度）カリキュラムでは高専版リベラルアーツ教育を以下のように再定義したうえで，リテラシー，コンピテンシー教育の充実を図っています。
※ 高専版リベラルアーツ教育
修学期間が5年間であり，早期専門教育をおこなう必要性から，単に一般教養的な知識習得を拡充するのではなく，さまざまな知識，学修成果を総合的に活用する学習活動を通して，思考力や課題設定，問題解決に必要な態度，志向性などの育成を図る。（参考：関連リンク↓）
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/02/20210226a/
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/09/20210924a/

このカリキュラム改訂は，社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか？ *

4:十分汲み取っている　○　3:汲み取っている　○　2:十分とはいえない　○　1:汲み取っていない　○

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP...FAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUMDM5MEFVMEVEVUxET0Y3OTEzN1kwNUlHVC4u　2 / 10ページ

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_熊本C(キャリア研修会)　R5/01/20 17:12

2. ※「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」(1番目でご覧頂いたものと同じものです)
をご一読の上、次のアンケートにお答えください。

本校では，社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育（CO-OP教育）の充実を図っています。（参考：関連リンク↓）
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/04/20210402b/
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/04/20210419b/

このカリキュラムは社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか？ *

4:十分汲み取っている　○　3:汲み取っている　○　2:十分とはいえない　○　1:汲み取っていない　○

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_熊本C(キャリア研修会)　R5/01/20 17:12

本学卒業生に期待する資質・能力

3. 貴社に入社を希望する本学卒業生に期待する資質・能力としてどのようなものを求めていますか。
特に期待するものを以下 ア～サ の中から4つ以内でお選びください。 *

- ☐ ア：日本語力・文章力
- ☐ イ：英語力
- ☐ ウ：ICTに関する基礎的技術の活用能力
- ☐ エ：専門的知識及び関連分野の知識
- ☐ オ：連携・協働して業務を遂行する能力
- ☐ カ：リーダーシップを発揮して業務を遂行する能力
- ☐ キ：社会，環境，市民などへの責任感をもって業務に取組む態度
- ☐ ク：課題解決能力
- ☐ ケ：論理的思考力
- ☐ コ：実行力
- ☐ サ：創造力

4. 貴社に入社を希望する本学卒業生に期待する資質・能力としてどのようなものを求めていますか。
上記の設問３ 以外の項目で、特に期待するものがございましたらご記入ください。

5. 最近（2018 年～2020 年の間）貴社に入社した本学卒業生がいるでしょうか。

- ○ １：はい
- ○ ２：いいえ

最近（2018 年～2020 年の間）貴社に入社した本学卒業生

6. 最近（2016 年～2020 年の間）貴社に入社した本学卒業生に関して、貴社が求める人材像との比較において以下ア～サの資質・能力についてどのように感じられますか。 *

	４：十分	３：概ね十分である	２：やや不十分	１：不十分
ア：日本語力・文章力	○	○	○	○
イ：英語力	○	○	○	○
ウ：ICTに関する基礎的技術の活用能力	○	○	○	○
エ：専門的知識及び関連分野の知識	○	○	○	○
オ：連携・協働して業務を遂行する能力	○	○	○	○
カ：リーダーシップを発揮して業務を遂行する能力	○	○	○	○
キ：社会，環境，市民などへの責任感をもって業務に取組む態度	○	○	○	○
ク：課題解決能力	○	○	○	○
ケ：論理的思考力	○	○	○	○
コ：実行力	○	○	○	○
サ：創造力	○	○	○	○

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP...FAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUMDM5MEFVMEVEVUxET0Y3OTEzN1kwNUlHVC4u　5 / 10ページ

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP...FAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUMDM5MEFVMEVEVUxET0Y3OTEzN1kwNUlHVC4u　6 / 10ページ

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_熊本C(キャリア研修会)　R5/01/20 17:12

7. 設問項目６．に関連し、本学で特に充実するとよいと思われる教育はどのようなものですか。
以下①～⑮の項目について該当する項目にチェックを入れてください（複数選択可です）。 *

- ☐ ①：国語教育
- ☐ ②：英語教育
- ☐ ③：研究成果発表などプレゼン能力を高める教育
- ☐ ④：ICT教育
- ☐ ⑤：より実践的な実験・実習
- ☐ ⑥：専門教育及び隣接分野に関する教育
- ☐ ⑦：一般常識・教養教育
- ☐ ⑧：グループワークを伴う教育
- ☐ ⑨：キャリア教育
- ☐ ⑩：技術者倫理
- ☐ ⑪：卒業研究
- ☐ ⑫：インターンシップ
- ☐ ⑬：資格取得支援
- ☐ ⑭：課題解決型教育
- ☐ ⑮：社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育

8. その他、上記 設問７にあげられている項目以外で、より充実するとよいと思われる教育がございましたらご記入ください。

9. 最近（2016 年～2020 年の間）貴社に入社した本学専攻科修了生がいるでしょうか。 *

- ○ １：はい
- ○ ２：いいえ

最近（2016 年～2020 年の間）貴社に入社した本学専攻科

10. 本学専攻科卒業生について　専門知識の広さや深さについてどのようにお考えでしょうか *

４：十分　○　３：概ね十分　○　２：やや不十分　○　１：不十分　○

11. 本校は、JABEE認定プログラムに参加しております。貴社では、採用・人事・業務などで、JABEE認定プログラムの修了生であるか、そうでないかについて考慮される場面はありますか？
※　JABEE認定プログラムについては、次のURLをご参照ください。
https://jabee.org/ *

４：大いに考慮している　○　３：ある程度考慮している　○　２：あまり考慮していない　○　１：まったく考慮していない　○

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。
Microsoft Forms

C. 企業アンケート３(質問項目フォームズ質問項目)

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_企業様向け

本アンケートは、本校の本科卒業生または専攻科修了生が所属する企業様を対象に実施しております。
本学の自己点検・評価に係る参考資料とさせて頂きたく存じます。
御多忙中のところ誠に恐れいりますが、何卒 御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

* 必須

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP...FAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUMjJHTU45TTNMQk1MWUNYVk00VldBQVdVSC4u 1 / 8ページ

1. 貴社の業種を、次の選択肢からお答えください（複数選択可）。
※　その他の欄は記述式です。ご利用になる場合はチェックを入れてご記入ください。
*

- ☐ 1：製造業
- ☐ 2：鉱業
- ☐ 3：情報通信業
- ☐ 4：電気・ガス・水道 関連業
- ☐ 5：運輸業
- ☐ 6：サービス業
- ☐ 7：農林・水産業
- ☐ 8：建設業
- ☐ 9：商業
- ☐ 10：不動産業
- ☐ 11：金融・保険業
- ☐ 12：教育・学習支援業
- ☐ 13：医療・福祉
- ☐ その他

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP...FAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUMjJHTU45TTNMQk1MWUNYVk00VldBQVdVSC4u 2 / 8ページ

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_企業様向け R5/01/20 17:15

2. 貴社に採用いただいている本学卒業生の学科等を、次の選択肢からお答えください。（複数選択可）。
*

- ☐ 1：情報通信エレクトロニクス工学科
- ☐ 2：制御情報システム工学科
- ☐ 3：人間情報システム工学科
- ☐ 4：機械知能システム工学科
- ☐ 5：建築社会デザイン工学科
- ☐ 6：生物化学システム工学科
- ☐ 7：電子情報システム工学専攻
- ☐ 8：生産システム工学専攻

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_企業様向け R5/01/20 17:15

3. 本学卒業生が配属された職種は、どの分野ですか。（複数選択可）。
※　その他の欄は記述式です。ご利用になる場合はチェックを入れてご記入ください。
*

- ☐ 1：設計
- ☐ 2：研究・開発
- ☐ 3：製造・生産技術
- ☐ 4：生産管
- ☐ 5：品質管理
- ☐ 6：システムエンジニア
- ☐ 7：セールスエンジニア
- ☐ 8：営業・販売
- ☐ 9：マーケティング・調査・商品企画・デザイン
- ☐ その他

4. 最近（2016年～2021年の間）貴社に入社した本学卒業生に関して、貴社が求める人材像との比較において以下ア～サの資質・能力についてどのように感じられますか。 *

	4：十分	3：概ね十分である	2：やや不十分	1：不十分
ア：日本語力・文章力	○	○	○	○
イ：英語力	○	○	○	○
ウ：ICTに関				

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_企業様向け

本アンケートは、本校の本科卒業生または専攻科修了生が所属する企業様を対象に実施しております。
本学の自己点検・評価に係る参考資料とさせて頂きたく存じます。
御多忙中のところ誠に恐れいりますが、何卒 御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

* 必須

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP...FAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUMjJHTU45TTNMQk1MWUNYVk00VldBQVdVSC4u 1 / 8ページ

1. 貴社の業種を、次の選択肢からお答えください（複数選択可）。
※　その他の欄は記述式です。ご利用になる場合はチェックを入れてご記入ください。
*

☐ 1：製造業 ☐ 2：鉱業 ☐ 3：情報通信業 ☐ 4：電気・ガス・水道 関連業 ☐ 5：運輸業 ☐ 6：サービス業 ☐ 7：農林・水産業 ☐ 8：建設業 ☐ 9：商業 ☐ 10：不動産業 ☐ 11：金融・保険業 ☐ 12：教育・学習支援業 ☐ 13：医療・福祉 ☐ その他

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP...FAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUMjJHTU45TTNMQk1MWUNYVk00VldBQVdVSC4u 2 / 8ページ

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_企業様向け R5/01/20 17:15

2. 貴社に採用いただいている本学卒業生の学科等を、次の選択肢からお答えください。（複数選択可）。
*

☐ 1：情報通信エレクトロニクス工学科 ☐ 2：制御情報システム工学科 ☐ 3：人間情報システム工学科 ☐ 4：機械知能システム工学科 ☐ 5：建築社会デザイン工学科 ☐ 6：生物化学システム工学科 ☐ 7：電子情報システム工学専攻 ☐ 8：生産システム工学専攻

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_企業様向け R5/01/20 17:15

3. 本学卒業生が配属された職種は、どの分野ですか。（複数選択可）。
※　その他の欄は記述式です。ご利用になる場合はチェックを入れてご記入ください。
*

☐ 1：設計 ☐ 2：研究・開発 ☐ 3：製造・生産技術 ☐ 4：生産管 ☐ 5：品質管理 ☐ 6：システムエンジニア ☐ 7：セールスエンジニア ☐ 8：営業・販売 ☐ 9：マーケティング・調査・商品企画・デザイン ☐ その他

4. 最近（2016年～2021年の間）貴社に入社した本学卒業生に関して、貴社が求める人材像との比較において以下ア～サの資質・能力についてどのように感じられますか。 *

4：十分 / 3：概ね十分である / 2：やや不十分 / 1：不十分
ア：日本語力・文章力 ○ ○ ○ ○
イ：英語力 ○ ○ ○ ○
ウ：ICTに関

E.大学アンケート(質問項目フォームズ質問項目)

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_大学・大学院の指導教員様向け

本アンケートは、本校の本科卒業生または専攻科修了生が在籍する大学等を対象に実施しております。
本学の自己点検・評価に係る参考資料とさせて頂きたく存じます。
御多忙中のところ誠に恐れいりますが、何卒 御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

* 必須

1. 回答者様の所属学部を、次の選択肢からお答えください。
※　選択肢に該当がない場合は、その他にチェックを入れて、ご記入願います。
*

- ○ 1：工学部
- ○ 2：理学部
- ○ 3：農学部
- ○ その他

2. 回答者の所属学科（学系）について、御記入ください。 *

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP&o...yFAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUQUg3TktCTU1ZM1ZNUlZVVFJYQUdLTzdBTC4u 1 / 7ページ

3. 編入した本校卒業生の学科を、次の選択肢からお答えください（複数選択可）。 *

- ☐ 1：情報通信エレクトロニクス工学科
- ☐ 2：制御情報システム工学科
- ☐ 3：人間情報システム工学科
- ☐ 4：機械知能システム工学科
- ☐ 5：建築社会デザイン工学科
- ☐ 6：生物化学システム工学科

4. 貴研究室に進学した本校専攻科修了生がおりましたら、次の選択肢からお答えください（複数回答可）。 *

- ☐ 1：電子情報システム工学専攻
- ☐ 2：生産システム工学専攻
- ☐ 3：該当なし

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP&...yFAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUQUg3TktCTU1ZM1ZNUlZVVFJYQUdLTzdBTC4u 2 / 7ページ

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_大学・大学院の指導教員様向け R5/01/20 17:14

5. ※「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」↓
https://kosenjp-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/isogawa_kumamoto_kosen-ac_jp/ERjnzOlSItNMkwt4DCyHIAUBPgyUpR8W4p4CPd8P2IZO_w?e=PKwHhw
をご一読の上、次のアンケートにお答えください。

平成31年度（令和元年度）カリキュラムでは高専版リベラルアーツ教育を以下のように再定義したうえで，リテラシー，コンピテンシー教育の充実を図っています。
※ 高専版リベラルアーツ教育
修学期間が5年間であり，早期専門教育をおこなう必要性から，単に一般教養的な知識習得を拡充するのではなく，さまざまな知識，学修成果を総合的に活用する学習活動を通して，思考力や課題設定，問題解決に必要な態度，志向性などの育成を図る。（参考：関連リンク↓）
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/02/20210226a/
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/09/20210924a/

このカリキュラム改訂は，社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか？ *

4:十分汲み取っている	3:汲み取っている	2:十分とはいえない	1:汲み取っていない
○	○	○	○

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_大学・大学院の指導教員様向け R5/01/20 17:14

6. ※「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」(1番目でご覧頂いたものと同じものです)
をご一読の上、次のアンケートにお答えください。

本校では，社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育（CO-OP教育）の充実を図っています。（参考：関連リンク↓）
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/04/20210402b/
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/04/20210419b/

このカリキュラムは社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか？ *

4:十分汲み取っている	3:汲み取っている	2:十分とはいえない	1:汲み取っていない
○	○	○	○

7. 最近（2016 年～2021 年の間）貴研究室に進学した本学卒業生に関して、貴研究室が求める人材像との比較において以下ア～サの資質・能力についてどのように感じられますか。 *

	4：十分	3：概ね十分である	2：やや不十分	1：不十分
ア：日本語力・文章力	○	○	○	○
イ：英語力	○	○	○	○
ウ：ICTに関する基礎的技術の活用能力	○	○	○	○
エ：専門的知識及び関連分野の知識	○	○	○	○
オ：連携・協働して業務を遂行する能力	○	○	○	○
カ：リーダーシップを発揮して業務を遂行する能力	○	○	○	○
キ：社会，環境，市民などへの責任感をもって業務に取組む態度	○	○	○	○
ク：課題解決能力	○	○	○	○
ケ：論理的思考力	○	○	○	○
コ：実行力	○	○	○	○
サ：創造力	○	○	○	○

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP&...yFAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUQUg3TktCTU1ZM1ZNUlZVVFJYQUdLTzdBTC4u 5 / 7ページ

8. 設問項目７．に関連し、本学で特に充実するとよいと思われる教育はどのようなものですか。
以下①～⑮の項目について該当する項目にチェックを入れてください（複数選択可です）。
*

- ☐ ①：国語教育
- ☐ ②：英語教育
- ☐ ③：研究成果発表などプレゼン能力を高める教育
- ☐ ④：ICT教育
- ☐ ⑤：より実践的な実験・実習
- ☐ ⑥：専門教育及び隣接分野に関する教育
- ☐ ⑦：一般常識・教養教育
- ☐ ⑧：グループワークを伴う教育
- ☐ ⑨：キャリア教育
- ☐ ⑩：技術者倫理
- ☐ ⑪：卒業研究
- ☐ ⑫：インターンシップ
- ☐ ⑬：資格取得支援
- ☐ ⑭：課題解決型教育
- ☐ ⑮：社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?lang=ja-JP&...yFAhIBCZ6BVDIEOI6ZSvCEtUQUg3TktCTU1ZM1ZNUlZVVFJYQUdLTzdBTC4u 6 / 7ページ

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_大学・大学院の指導教員様向け R5/01/20 17:14

9. その他、上記 設問８にあげられている項目以外で、より充実するとよいと思われる教育がございましたらご記入ください。

10. 最近（2016 年～2021 年の間）貴研究室に進学した本学専攻科修了生がいるでしょうか。 *

- ○ 1：はい
- ○ 2：いいえ

11. 本学専攻科卒業生について　専門知識の広さや深さについてどのようにお考えでしょうか。 *

4：十分	3：概ね十分	2：やや不十分	1：不十分
○	○	○	○

D. 卒業生アンケート（質問項目フォームズ質問項目）

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_卒業生の皆様向け

本アンケートは、本校の本科卒業生または専攻科修了生の皆様を対象に実施しております。
本学の自己点検・評価に係る参考資料とさせて頂きたく存じます。
御多忙中のところ誠に恐れいりますが、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

* 必須

1. 卒業学科を下記の選択肢から１つお選びください。 *

- ○ １：情報通信エレクトロニクス工学科
- ○ ２：制御情報システム工学科
- ○ ３：人間情報システム工学科
- ○ ４：機械知能システム工学科
- ○ ５：建築社会デザイン工学科
- ○ ６：生物化学システム工学科

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?auth_pvr=Or...I6ZSvCEtUQINQODhLV1dVMVRXUDI1Wk5YWklYVTFHWS4u&analysis=false 1 / 10ページ

2. 専攻科を修了された方は、修了専攻をお選びください。
（該当しない方は、該当なしをお選びください。） *

- ☐ １：電子情報システム工学専攻
- ☐ ２：生産システム工学専攻
- ☐ ３：該当なし

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?auth_pvr=Or...I6ZSvCEtUQINQODhLV1dVMVRXUDI1Wk5YWklYVTFHWS4u&analysis=false 2 / 10ページ

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_卒業生の皆様向け R5/01/20 17:17

3. 現在の職業・業種等を、次の選択肢からお答えください（複数選択可）。
※　その他の欄は記述式です。ご利用になる場合はチェックを入れてご記入ください。
*

- ☐ １：製造業
- ☐ ２：鉱業
- ☐ ３：情報通信業
- ☐ ４：電気・ガス・水道 関連業
- ☐ ５：運輸業
- ☐ ６：サービス業
- ☐ ７：農林・水産業
- ☐ ８：建設業
- ☐ ９：商業
- ☐ 10：不動産業
- ☐ 11：金融・保険業
- ☐ 12：教育・学習支援業
- ☐ 13：医療・福祉
- ☐ 14：公務
- ☐ 15：専門学校生・大学生・大学院生
- ☐ 16：自営業
- ☐ その他

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_卒業生の皆様向け R5/01/20 17:17

4. 現在の職種を、次の選択肢からお答えください（複数選択可）。
※　その他の欄は記述式です。ご利用になる場合はチェックを入れてご記入ください。 *

- ☐ １：設計
- ☐ ２：研究・開発
- ☐ ３：製造・生産技術
- ☐ ４：生産管理
- ☐ ５：品質管理
- ☐ ６：システムエンジニア
- ☐ ７：セールスエンジニア
- ☐ ８：営業・販売
- ☐ ９：マーケティング・調査・商品企画・デザイン
- ☐ その他

5. ※「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」↓
https://kosenjp-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/isogawa_kumamoto_kosen-ac_jp/ERjnzOlSItNMkwt4DCyHIAUBPgyUpR8W4p4CPd8P2IZO_w?e=PKwHhw
をご一読の上、次のアンケートにお答えください。

平成31年度（令和元年度）カリキュラムでは高専版リベラルアーツ教育を以下のように再定義したうえで，リテラシー，コンピテンシー教育の充実を図っています。
※ 高専版リベラルアーツ教育
修学期間が5年間であり，早期専門教育をおこなう必要性から，単に一般教養的な知識習得を拡充するのではなく，さまざまな知識，学修成果を総合的に活用する学習活動を通して，思考力や課題設定，問題解決に必要な態度，志向性などの育成を図る。（参考：関連リンク↓）
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/02/20210226a/
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/09/20210924a/

このカリキュラム改訂は，社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか？ *

4:十分汲み取っている	3:汲み取っている	2:十分とはいえない	1:汲み取っていない
○	○	○	○

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?auth_pvr=Or...I6ZSvCEtUQINQODhLV1dVMVRXUDI1Wk5YWklYVTFHWS4u&analysis=false 5 / 10ページ

6. ※「熊本高等専門学校のカリキュラムの特色について」（1番目でご覧頂いたものと同じものです）
をご一読の上、次のアンケートにお答えください。

本校では，社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育（CO-OP教育）の充実を図っています。（参考：関連リンク↓）
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/04/20210402b/
https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2021/04/20210419b/

このカリキュラムは社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか？ *

4:十分汲み取っている	3:汲み取っている	2:十分とはいえない	1:汲み取っていない
○	○	○	○

7. 本学の教育が、ア～サの資質・能力を身につけ・伸長するために役立ったか、どのように感じられますか。 *

	４：役立った	３：概ね役立った	２：あまり役立たなかった	１：役立たなかった
ア：日本語力・文章力	○	○	○	○
イ：英語力	○	○	○	○
ウ：ICTに関する基礎的技術の活用能力	○	○	○	○
エ：専門的知識及び関連分野の知識	○	○	○	○
オ：連携・協働して業務を遂行する能力	○	○	○	○
カ：リーダーシップを発揮して業務を遂行する能力	○	○	○	○
キ：社会，環境，市民などへの責任感をもって業務に取組む態度	○	○	○	○
ク：課題解決能力	○	○	○	○
ケ：論理的思考力	○	○	○	○
コ：実行力	○	○	○	○
サ：創造力	○	○	○	○

https://forms.office.com/pages/designpagev2.aspx?auth_pvr=Or...I6ZSvCEtUQINQODhLV1dVMVRXUDI1Wk5YWklYVTFHWS4u&analysis=false 6 / 10ページ

熊本高等専門学校の教育に係るアンケート_卒業生の皆様向け R5/01/20 17:17

8. 設問項目７．に関連し、本学で特に充実するとよいと思われる教育はどのようなものですか。
以下①～⑮の項目について該当する項目にチェックを入れてください（複数選択可です）。
*

- ☐ ①：国語教育
- ☐ ②：英語教育
- ☐ ③：研究成果発表などプレゼン能力を高める教育
- ☐ ④：ICT教育
- ☐ ⑤：より実践的な実験・実習
- ☐ ⑥：専門教育及び隣接分野に関する教育
- ☐ ⑦：一般常識・教養教育
- ☐ ⑧：グループワークを伴う教育
- ☐ ⑨：キャリア教育
- ☐ ⑩：技術者倫理
- ☐ ⑪：卒業研究
- ☐ ⑫：インターンシップ
- ☐ ⑬：資格取得支援
- ☐ ⑭：課題解決型教育
- ☐ ⑮：社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育

9. その他、上記 設問８にあげられている項目以外で、より充実するとよいと思われる教育がございましたらご記入ください。

10. 本校での教育全般について、満足度はいかがですか。 *

4:満足	3:概ね満足	2:あまり満足していない	1:満足していない
○	○	○	○

11. 本学専攻科修了生の方ですか？
※ 1.はい　とお答えになった方は、専攻科に関する質問があと2件ございます。
2.いいえ とお答えになった方は、回答送信の最終画面に移動します。
*

- ○ １：はい
- ○ ２：いいえ

12. 本学専攻科で学んだ専門知識の広さや深さについてどのようにお考えですか。
*

４：十分	３：概ね十分	２：やや不十分	１：不十分
○	○	○	○

13. JABEE認定プログラムの修了生であることが、役に立っているとお考えですか？ *

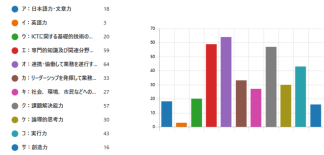
４：大いに役立っている	３：ある程度役立っている	２：あまり役立っていない	１：まったく役立っていない
○	○	○	○

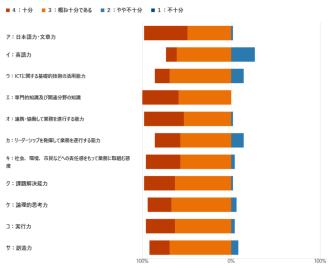
このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。
Microsoft Forms

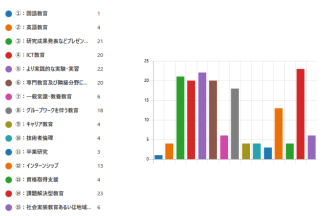
9．令和４年度第１回企画調整会議（令和４年４月 12 日（火））提出資料
（8）企業対象アンケートの分析結果について（資料９）

企業アンケート_2021.12.11～2022.1.31 実施_(１次)分析結果
回答 90 件のうち、2018～2020 に本学卒業生が在籍する会社：49 件、
2016～2020 に本学専攻科修了生が在籍する会社：21 件

１．	
目　的	現在の本校の教育方針（新カリの考え方）などを提示し、それが、 「社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものであるか」 を確認する。
質問項目	１．２． このカリキュラム改訂は，社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものだと考えられますか？ 1．Keyword ：高専版リベラルアーツ教育 2．Keyword ：社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育（CO-OP 教育）の充実
結　果	1．Keyword 高専版リベラルアーツ教育 2．Keyword 社会実装教育あるいは地域社会，企業等との協働教育（CO-OP 教育）の充実 1．につていは、十分汲み取っている 57.8%、汲み取っている 42.2% 2．については、十分汲み取っている 52.2%、汲み取っている 47.8% 上記の通り「３．汲み取っている」以上の評価が 100%となっている。
分　析	現在の本校の教育方針（新カリの考え方）などが、 「社会的な動向やニーズ，あるいはエンジニアの実務上の要求を十分汲み取ったものである」 ことがデータの上では確認できた。

２－１．	
目　的	DP ベースで（対応表参照） 「卒業生に求める資質・能力，今後必要となる能力などについて」確認する。
質問項目	３． 貴社に入社を希望する本学卒業生に期待する資質・能力としてどのようなものを求めていますか。
結　果	 上位４件は以下の通り。 エ）専門知識の活用能力　(65.6%) オ）連携・協働して業務を遂行する能力　(71.1%) ク）課題解決能力　(63.3%) コ）実行力　(47.8%)
分　析	専門的知識の活用能力　および 基礎的・汎用的能力については　人間関係形成・社会形成能力と課題対応能力が重視されている。

２－２．	
目　的	DP ベースで 「企業の本校卒業生に対する評価」について確認する。
質問項目	６．１０． ６．　貴社が求める人材像との比較において本校卒業生の能力等についてどのように感じられますか。 １０．専攻科卒業生について本学で学んだ専門知識の広さや深さについてどのように考えでしょうか。
結　果	６．  ６．につて ・73.5% 以上が「概ね十分」以上の評価をしている。 ・また、２－１で上位に挙げられた能力に対する評価は 95.9%以上が「概ね十分」以上の評価。 エ）専門知識の活用能力：100%が「概ね十分」以上の評価 オ）連携・協働して業務を遂行する能力：98%が「概ね十分」以上の評価 ク）課題解決能力：98%が「概ね十分」以上の評価 コ）実行力：95.9%が「概ね十分」以上の評価 10．について 十分：57.1%、概ね十分：42.9%　「概ね十分」以上の評価が 100%
分　析	DP ベースで「企業の本校卒業生に対する評価」について確認した結果、 データからは、高い評価を得ていることが分かる。 ※　英語力がやや不十分であるとの評価が 26.5%ある。（２－３の分析参照）

２－３．	
目　的	DP ベースで 「本学でより充実するとよいと思われる教育」について確認する。
質問項目	７． 本学でより充実するとよいと思われる教育はどのようなものですか。
結　果	 10 件以上が重要と回答した項目は下記の通り。 ③ 研究成果発表などプレゼン能力を高める教育：21 件 ④ ICT 教育：20 件 ⑤ より実践的な実験・実習：22 件 ⑥ 専門教育および隣接分野に関する教育：20 件 ⑧ グループワークを伴う教育：18 件 ⑫インターンシップ：13 件 ⑭ 課題解決型教育：23 件
分　析	DP ベースで「本学でより充実するとよいと思われる教育」について確認した結果、 データからは、③～⑥に該当する専門教育および基礎教育、 ⑧、⑫、⑭に該当する基礎的・汎用的能力の育成が重視されていることがわかる。 ※　英語教育の充実を求める回答は４件（4.4%）と少なかった。（２－２の分析参照）

提　言	
	卒業生は高い評価を得ており、これを継続するために、 専門教育の充実および 基礎的・汎用的能力については人間関係形成・社会形成能力と課題対応能力の涵養が重要である。 上記に留意しつつ、本校の教育方針にもとづいて、効果的な教育が実施されるよう検証を加えながら改善を進めてゆく必要がある。